

【 註索引 】

- 本書中、複数箇所に記載されている難解な語句を 50 音・アルファベット順に並べてあります。
○特に、内村鑑三、キリスト教、独立学園、無教会に関する人名や地名については、一度しか出て来ない語句も掲載しました。

アインシュタイン Albert Einstein (1879 ~ 1955)、理論物理学者。ユダヤ系ドイツ人で、ナチスに追われて渡米。1921 年にノーベル物理学賞受賞。一般相対性理論、特殊相対性理論などで有名。

アウグスティヌス Aurelius Augustinus (354 ~ 430)、初期キリスト教会最大のラテン教父・思想家。

アウグストゥス (前 63 ~ 14)、ローマ帝国初代皇帝。旧名オクタウィアヌス (オクタビアヌス)。

アウフヘーベン ヘーゲル哲学 (弁証法) の用語。日本語では止揚、揚棄と記す。物事が低い段階の否定を通して高い段階へと進み、より高い段階で統一される際、高い段階のうちに低い段階の実質が保存されること。あるものを否定しつつも、より高次の段階で生かし、保存すること。

アキレス ギリシャ神話の英雄アキレウスのローマ名。ホメロスの「イリアス」の中心人物。不死身の身体の一の弱点である踵を射られて死んだ。人体のアキレス腱はこの神話に基づいて名付けられた。強者の致命的な弱点という意味の比喩も、この神話に由来する。

あしおどうざんこうどくじけん【足尾銅山鉱毒事件】栃木県日光市の足尾銅山から流出する鉱毒 (鉱物を採掘・製錬する際の廃棄物などから生じる害毒) によって災害を受けた渡良瀬川下流の農民たちが、操業停止や損害賠償を求めて起こした運動。特に 1890 年代以降、大きな社会問題となった。衆議院議員田中正造はこれを積極的に支援し、天皇への直訴にまで及んだ。

あぜがみけんぞう【畔上賢造】(1884 ~ 1938)、

内村鑑三の助手、独立伝道者。内村の著書『羅馬書の研究』は畔上の編集による。

アダム・スミス Adam Smith (1723 ~ 1790)、イギリス (スコットランド) の経済学者。古典派経済学の始祖。

アッシリア 前 19 世紀頃から前 7 世紀にわたって栄えた、古代オリエント最初の世界帝国。

アマーフトだいがく【アマーフト大学】アメリカ合衆国マサチューセッツ州西部のアマーフトにある私立のリベラル・アーツ・カレッジ。1821 年創立。新島襄 (同志社大学創立者) の勧めで内村が入学 (三年次編入) している。なお、新島の在学中、札幌農学校初代教頭で内村に絶大な影響を与えたウィリアム・スミス・クラークが教鞭を執っており、新島もクラークの授業を受講している。また、新島のアドバイザー、またホストファミリーとして新島に大きな影響を与えたシーリー教授は、後に内村がアマーフトへ留学した際の総長 (学長)。「余輩は先生 (シーリーのこと) に依りて始めて基督教の何たるを知り」(内村鑑三全集 12 巻 p.97) と述べるほどに、内村もシーリーとの出会いによって人生を変えられた。

あまのりゅうじ【天野隆治】鈴木のおい。独立学園元副校長。→佐藤のぶ

あらと【荒砥】山形県西置賜郡白鷹町荒砥。

アラビアじん【アラビア人】本来は、アラビア半島に住むセム系の遊牧民族の総称。

アリストテレス (前 384 ~ 前 322) プラトンの弟子であり、またその批判者。プラトンと並んで古代ギリシア最大の哲学者と言われる。アテネにリュケイオンという学校を開き、論理・自然・社会・芸術などの研究を行い、多方面にわたる学問に関する多数の著作を残した。

アルプス ヨーロッパの中央南部の山脈。最高峰は4,807mのモンブラン。

アレクサンドロスだいおう【アレクサンドロス大王】(前356～前323)、大王。20歳で即位、ギリシャを支配し、シリア・エジプト・ペルシアを征服、さらにインドに攻め入ってバビロンに凱旋。ギリシャ文化をはるか東方に伝播させた。アレキサンダー大王。

アンクル・トムのこや【アンクル・トムの小屋】Uncle Tom's Cabin、ストー夫人による小説。1852年刊。

あんこくじだい【暗黒時代】特に紀元476年の西ローマ帝国の滅亡から紀元1000年頃までのヨーロッパ中世前期のことを指す。文化の発達が妨げられ、知的暗黒時代だったという見方による。

アンティオキア トルコ南部の都市。パレスチナ以外で最初のキリスト教教団が組織された場所。現在は、トルコ語でアンタキヤ、あるいはアンタキアと呼ばれる。

アンティオケ →アンティオキア

アンテオケ →アンティオキア

あんぼじょうやく【安保条約】日米安全保障条約。1951年9月、サンフランシスコ講和条約調印と同時に締結された、日米間の軍事的関係を規定した条約。講和後も米軍が日本に駐留することや、米国の集団的自衛権を行使して日本を防衛する義務の根拠になっている。

いがらしさきょう【五十嵐佐恭】担当教科は生物。旧屋代村(現高島町)の公民館長を務めた。

いげん【異言】宗教的な恍惚状態に入って話す理解不能な言葉。神の霊によって語らされると信じられていた。

いさりょうえき【伊佐領駅】独立学園の最寄り駅。現在でも距離的には最寄りだが、横川ダム建設にともなう子持トンネル開通以降は、若干遠い小国駅を利用することが多い。

いしはらひょうえい【石原兵永】(1895～

1984)、内村門下のキリスト教伝道者。「聖書の言」は、石原が刊行していた聖書雑誌。石原は独立学園初代理事の一人で、1960年の校舎火災の「復興感謝竣工式」では記念講演を行った。独立学園の旧職員・榎本華子は石原集会の会員であり、鈴木が榎本一家へ独立学園への赴任を依頼した際、榎本華子は石原などに小国行きを相談した。

いしむりのぶお【石森延男】(1897～1987)、昭和女子大学教授、児童文学作家。独立学園には1959年3月17日に来校し、第9回卒業式の卒業記念講演の講師を務めた(独立学園初の卒業記念講演)。その後も何度か来校し、クリスマスや創立記念式でも講師を務めた。

いちにちいっしょう【一日一生】内村鑑三著、畔上賢造編の書籍。1926年10月20日初版発行。

いちのの【市野々】小国町の地名。現在、飛泉寺の大銀杏(通称・大銀杏)のあるあたり。横川ダム建設により全世帯が移転した。

イデオロギー 歴史的・社会的立場に基づいて形成される、基本的なものの考え方。観念形態。一般に、政治的・社会的なものの考え方。思想の傾向。

いとうくにゆき【伊藤邦幸】(1931～1993)、医師、JOCSスタッフ。東京大学大学院人文科学研究科修士課程で倫理学を、京都大学大学院文学研究科哲学科博士課程でキリスト教を専攻。1960年11月から1961年5月まで、第五次南極観測隊に参加。1963年から京都大学医学部医学科で学び、医師となった。京都大学大学院で免疫学を研究した妻・聡美と共に延べ7年6ヶ月、ネパールのオカルドゥンガで診療活動を行った。独立学園に度々来校し、北極学術調査やネパールでの医療活動などについて講演を行った。子の一人は独立学園卒業生。

いとうてつすけ【伊藤哲之助】二渡戸生まれで、二渡戸に住み、教職の最後は校長を務めた。独立学校・独立学園の支援者で、長男は

独立学校の生徒だったが応召し戦死した。その他の子ども 6 人、孫 5 人が独立学園の卒業生。

いのうえさかえ【井上栄】戦前から敗戦まで、応召と拘留で鈴木がほぼ不在だった鈴木家・独立学校で働き、農業や製材を行った。鈴木さかえの拘留中も、井上 栄 一家は鈴木うえつの妻子を親身に支え続けた。羽越水害おおいしざわがわの前は大石沢川の東側（独立学園側から見て、現在のパークゴルフ場脇の橋の先）に家があったが、水害後は西側に移転し現在に至る。

いのうえてつじろう【井上哲治郎】（1855～1944）、哲学者、東京帝国大学教授。

いほうじん【異邦人】外国人。異国人。聖書では、神に選ばれた民であるユダヤ人が、異教徒を自分たちと区別して呼んだことば。

いわしまとおる【岩島公】元高等学校教員。1974年から 1989 年まで独立学園で講師を務め、古典の集中講義を行った。キリスト教の伝道雑誌「永遠の日本」主筆。

いんがりつ【因果律】哲学で、すべての事象は必ず原因があって生じるという法則。

ヴァチカン ローマ教皇が統治するローマ市内にある小独立国。ヴァチカン市国。

ヴィラ 別荘。ビラ。

ウィンケルマン Johann Joachim Winckelmann（1717～1768）、ドイツの美学・美術史学者。

うえすぎようざん【上杉鷹山】（1751～1822）、江戸後期の米沢よねざわ（現山形県米沢市）藩主。藩校よねざわの設立、儉約の励行、行政の刷新、産業の奨励、荒地開墾など、あらゆる面で藩はんの立て直しを行った名君として知られる。内村鑑三の『代表的日本人』に記された一人。「なせばなるなさねばならぬ何事もならぬは人のなさぬなりけり」の作者としても有名。

ヴォーリズ William Merrell Vories（1880～1964）、アメリカ・カンザス州出身のキリスト教伝道者（ただし神学校を卒業しておらず、公的な資格を得た宣教師ではない）、YMCA 活動家、社会事業家、建築家、近江兄弟社

創立者。さらには詩人や音楽家でもあった。1905 年にキリスト教伝道のため来日し、滋賀県立八幡商業学校の英語教師となった。バイブルクラスを始めたところ大勢の生徒が集まったが、キリスト教の布教に反対する地元民の意を汲くんだ滋賀県教育委員会は、契約更新に際し、バイブルクラスの活動を自粛することをヴォーリズに促した。しかし、ヴォーリズはこの要求を受け入れず、自ら解職を希望し、1907 年 3 月に離職した。離職直前の 2 月には、ヴォーリズが設計した八幡基はちまんキリ督教青年会館（YMCA）が竣工。1908 年 12 月ごろ、京都 YMCA 会館の一室に設計監督事務所を開設。当時夏の軽井沢に集まっていた在日宣教団体との接点から、戦前までも日本全国で 1,000 件を超える学校、住宅、病院などの建築に携たづきわった。現存するヴォーリズ設計の建物としては、大阪と京都のデパート、関西学院、神戸女学院、現在の山の上ホテル（東京都千代田区）などが特に有名。設計事務所は戦時中に一時解散したものの、戦後に復活し、株式会社一粒社ヴォーリズ建築事務所として今日に至っている。1910 年に教え子の村田幸一郎、吉田悦蔵と共に結成した近江ミッションは、1934 年には近江兄弟社、1944 年には株式会社近江兄弟社となった。1919 年に華族の 一柳満喜子と結婚し、1941 年に日本に帰化。1920 年に満喜子が自宅を開放して始めた町の子どものためのプレイグラウンド・清友園（学童保育）は、1922 年に幼稚園として認可された。また、1933 年に吉田悦蔵がメンソレータム工場の従業員のために始めた近江兄弟社女学校も、1943 年に高等女学校の認可を得た。戦後、1947 年に小学校と中学校を開設、1948 年に近江兄弟社女学校は男女共学の近江兄弟社高等学校となった。1951 年に幼稚園、小学校、中学校、高等学校からなる近江兄弟社学園（現ヴォーリズ学園）を設立し、ヴォーリズが理事長を、満喜子が学園長を務めた。ヴォーリズは 1934

年 4 月 29 日に叶水の鈴木宅（現在の独立学園だが、来訪時はキリスト基督教独立学校創立の 4 ヶ月ほど前）を訪問している。ヴォーリズについては、近江兄弟社やハイドの註も参照されたい。

ウジャおう【ウジャ王】（在位・前 783～742）、南ユダ王国最盛期の王。

うちゲバ【内ゲバ】 組織の内部での暴力を伴う対立・抗争。ゲバはゲバルト（ドイツ語で国家権力に対する実力闘争の意）の略。

うちむらかんぞう【内村鑑三】（1861～1930）、宗教家・評論家。本書の著者・鈴木弼美の信仰の師。高崎藩士の子として江戸で生まれた。1877 年に札幌農学校に第 2 期生として入学、1881 年に同校を主席で卒業し、水産業の調査開発に従事した。1884 年に渡米し、知的障害児の養護学校で看護人として働いたが、翌年にいじまじょう すす 新島 襄 の勧めで新島の母校であるアマースト大学に編入。そこでシーリー総長から深い影響を受け、宗教的 かいしん 回心を体験した。1887 年に卒業し、1888 年に帰国。いくつかの学校で きょうべん 教鞭を執った後、1890 年から第一高等中学校の教員となった。1891 年、教育勅語に書かれた明治天皇直筆の署名に対して内村が最敬礼をしなかったことが社会問題（不敬事件）となり、同校を退職。その後は、教会で説教をしたり、再び教員となったり、新聞に ろんせつ しつびつ 論説を執筆したりして生計をたてた。その後、1900 年に日本初の聖書雑誌である『聖書の研究』を刊行し、雑誌による伝道を行った。この『聖書の研究』の発行と並行して行われていた内村の自宅での聖書講義に出席したことから、鈴木は内村の門下生となった。

うめこせんせい【様子先生】 →ますもとうめこ

うめだかおる【梅田薫】 1928 年 11 月 8 日に内村の司式により内村の妻の姪・岡田花枝と結婚した医学士。（内村鑑三全集 35 巻 p.383）

えいえんのほん【永遠の日本】 岩島 とおる 公 が主筆のキリスト教の伝道雑誌。

えいわどくごしゅう【英和独語集】 1922 年（大

正 11 年）4 月 15 日刊。内村が発行していた『聖書の研究』に掲載した英文を集めた本。内村は、1922 年 5 月 5 日の日記に、「『英和独語集』Alone with God and Me が岩波書店より出た、世に如何に受けらるかゞ見物である、今日 い か が み も の こ と の基督教界殊に英米宣教師に対し小爆弾の用は為すであらう、それ以上を望む事は出来ない。」と記している。（内村鑑三全集 34 巻 p.45）

エフェソ 現在のトルコ西海岸の都市。エペソ、エフェソスとも。

エホバ ヤハウェ、ヤアウエの文語訳。

おう【翁】 男性の老人の敬称。

おうみきょうだいしゃ【近江兄弟社】 滋賀県 お う み は ち ま ん 江八幡市に本社をおく、医薬品の製造販売会社。後述の通り、創立当時の名称は近江 お う み キリスト教伝道団（近江 お う み ミッション）で、後に近江兄弟社と改称。創立者はアメリカ人のヴォーリズ。来日当初のヴォーリズは、教育活動・建築設計業などをしながらキリスト教を伝道した。1910 年、教え子の村田幸一郎、吉田悦蔵とヴォーリズの 3 人が中心となり、近江 お う み キリスト教伝道団（近江 お う み ミッション）を結成。1913 年、アメリカでハイドと再会し、メンソレータム社の日本代理店となった。1918 年、近江療養園（結核療養所）を開設。1920 年、メンソレータム ひ ふ し つ か ん（皮膚疾患の家庭用治療薬の商標名）の輸入販売を開始。1931 年、工場を建設し、メンソレータムの製造を開始。1934 年、近江 お う み ミッションを近江兄弟社と改称。戦時体制となった 1942 年には、伝道活動を八幡 は ち ま ん キ リ ス ト 教会に移譲し、近江兄弟社は医療、教育、社会事業など、直接キリスト教に関わらない部門を受け持つようにした。1944 年、株式会社近江兄弟社となり、村田幸一郎が社長を務めた。本書 6-2、8-1-3、ヴォーリズの註も参照されたい。

おうみのからしだね【近江のからし種】 The Omi Mustard Seed、1907 年にヴォーリズが創刊した雑誌。

おおえとめきち【大江留吉】無教会クリスチャン。旧高崎村関山（現東根市）で最初にブドウ栽培を始めた。1948年の独立学園創立式では式辞を述べ、創立当初のこけし作りなどの木工事業などに協力した。

おおがいちろう【大賀一郎】（1883～1965）、植物学者。内村の門下生。内村は大賀について、「大賀は（中略）余に取りては貴き一人である、而して彼れ一人を得んが為には九十九人の背信者を出しても惜しくはない」（内村鑑三全集 33巻 p.184）とまで言っている。大賀は1951年、千葉市の遺跡で発掘した推定2,000年前のハスの種を発芽・開花させることに成功した。その花は「大賀ハス」として全国に広まっており、独立学園のグラウンド脇でも栽培されている。独立学園創立当初は、年に何度も来校し、生物学の集中授業を行った。

おおつきいずみ【大槻泉】考古学者。ドイツ人の考古学者と結婚し、2021年現在はドイツ在住。千葉真のはとこ。『エトルリアの壁画』（岩波書店、1985）の共同訳者と思われる。

オカルドゥンガ ネパールの地名。伊藤邦幸が活動した病院がある地。

おぐにむら【小国村】現在の小国町の北部。

おくやまきちじ【奥山吉治】無教会のクリスチャン。山形県内に住んでいた数少ない内村門下として、鈴木らと親しい交わりがあった。

おやし【首石】石造りの建物の基礎のうち、隅に据える大事な石。親石。頭石とも。文語訳聖書では「首石」、口語訳聖書では「かしら石」、新共同訳聖書では「親石」と訳されている。鈴木は「かしら石」という訳を好んで用いていたようであり、1957年にブロックで校舎を建てた際には、「隅のかしら石多くの愛によって」と刻んだ石を玄関部分に据えた。この石はその後の増築の際も残され続けたが、現在の校舎・講堂には用いられていない。独立学園の同窓会報の名称である「隅のかしら石」は、この石に由来する。

オレンジこうウィリアム【オレンジ公ウィリアム】William III（1650～1702）、ウィリアム3世。名誉革命で権利宣言を承認してイギリスの王位につき、議院内閣制への道を開いた。現在ではオラニエ公（オレンジ公）との表記が主流と思われる。

おんちょう【恩寵】めぐみ。いつくしみ。キリスト教神学で、神の恵み。罪深い人間に神から与えられる無償の賜物。

カーライル Thomas Carlyle（1795～1881）、イギリスの批評家・歴史家。

かいたくのうぎょう【開拓農業】みずから山野や荒地を切り開いて作った農地でおこなう農業。

かくのかさ【核の傘】日本をまるで傘のようにアメリカの保有する核兵器の力で覆い、それにより日本を他国からの攻撃から守ろうとすること。

かげえものがたり【影絵物語】→シルエット

かしわぎ【柏木】1907年11月から内村が暮らした、ほぼ現在の東京都新宿区西新宿と北新宿のあたりの地名。内村がその前に住んでいた角筈（現在の西新宿や歌舞伎町の一部）の近く。内村が柏木の自宅敷地内で毎日曜に開いた集会在、柏木聖書研究会（柏木集会）。

かしわぎにちようがっこう【柏木日曜学校】内村が開いていた毎日曜の柏木集会の、午前の子供向けの会のことと思われる。鈴木が手伝うことになった経緯は、本書8-1-3を参照のこと。

かしん【嘉信】矢内原忠雄が発行していた個人雑誌。

カズこ【カズ子】内村加寿子、内村の二番目の妻。不敬事件の約三ヶ月後に病死した。

かずこ【和子】→今野和子

かたどうもん【片洞門】小国町内の廃道。200メートルにわたる断崖絶壁の崖壁を開削して道路を通したところ。半分が洞門（トンネル）のようになっていることから片洞門と呼

ばれている。
かたやまとおる【片山徹】後にハデルストンの
ギリシャ語文法書を翻訳した。独立学園旧職
員・片山達夫の父。

かつれい【割礼】男性の生殖器の包皮を環状
に切りとる宗教的習慣。旧約聖書の創世記 17
章では、神がアブラハムに契約のしるしとし
て割礼を施すよう命じている。一方、新約
聖書・ガラテヤの信徒への手紙でパウロは、
「キリスト・イエスに結ばれていれば、割礼
の有無は問題ではなく、愛の実践を伴う信
仰こそ大切です」(5章6節)、「割礼の有無
は問題ではなく、大切なのは、新しく創造さ
れることです」(6章15節)などと記してお
り、割礼という儀式以上に大事なものがある
ことを説いている。

かとうひろゆき【加藤弘之】(1836 ~ 1916)、
哲学者、教育家。東京帝国大学総長。

カトマンズ ネパール連邦民主共和国(鈴木を訪
問当時はネパール王国)の首都。

カトリック ローマ法王を長とするキリスト教
会。カトリック教会に抵抗する形で生まれた
のがプロテスタント教会。

かふ【寡婦】夫と死別または離婚した後、再婚
していない女性。また、戦争によって夫が死
んでしまった女性のこと。

ガマリエル ファリサイ派の律法学者。パウロの
師。

かみかのみず【上叶水】独立学園のすぐ側を流
れる滝川の北側が下叶水、南側が上叶水。
現在の独立学園の校舎は下叶水、新グラウン
ドは上叶水に位置する。

かみのやま【上山】原文は上の山。現在、市名
は上山市と表記するが、温泉名はかみのや
ま温泉と表記する。

かみをおそるはがくもんのはじめ【神を恐る
るは学問の始め】初めての講堂(旧講堂)の
東側の壁面に書かれていた。現在の講堂にお
いても、同じく東側の壁面に刻まれている。
現在の表記は、「神を畏るるは学問の始め」。

ガリレイ Galileo Galilei (1564 ~ 1642)、イタ
リアの天文学者・物理学者・哲学者。近代科
学の父。コペルニクスの地動説を是認したた
め、宗教裁判に付された。

カルピン Jean Calvin (1509 ~ 1564)、フラン
スの宗教改革者。カルヴァン。

かわいみち【河井道】(1877 ~ 1953)、キリス
ト者、教育者、日本YWCAの創始者。新渡
戸稲造や津田梅子に師事。札幌でサラ・C・
スミスが開設した女学校(現・北星学園女子
中学高等学校)を卒業。1898年に渡米。帰国
後、津田英学塾教授。1929年、キリスト教主
義女子教育を目指し、恵泉女学園を創立した。
戦後、教育刷新委員会委員となり旧・教育基
本法の制定に関わった。

かんいん【姦淫】不正な男女の交わり。不倫な
情事。

かながく【官学】官立の学校。国公立の学校。
⇔私学。

かんこうり【官公吏】官吏と公吏。国家公務員
および地方公務員。

かんこうりつがっこう【官公立学校】国立・都
道府県立・市町村立の、いわゆる公立学校。

かんちょう【官庁】一般に、役所。

カント Immanuel Kant (1724 ~ 1804)、ドイツ
の哲学者。近世哲学を代表する哲学者の一人。

カントル Georg Ferdinand Ludwig Philipp
Cantor (1845 ~ 1918)、ドイツの哲学的数学
者。

かんり【官吏】役人。国家公務員とほぼ同義。

かんりょう【官僚】特に、政策決定に影響を与
えるような上級の役人。

きかがく【幾何学】幾何学は、数学の一部門。
物の形・大きさ・位置・その他一般に空間に
関する性質を研究する学問。その方法・対象
・公理系の異なる種々の分科がある。ユーク
リッド幾何学とは、ユークリッドが大成した
幾何学。公理は結合・順序・合同・平行・連
続の5群に整理される。非ユークリッド幾何
学とは、ユークリッド幾何学における平行線

こうり
の公理を否定し、他の形の平行線のこうり
採用することによって成立する幾何学。
きかがく

きくたけたねじ【菊竹種次】福岡県出身。旧満
州で本間定夫と知り合う。本間定夫は菊竹
の妻の妹の夫。旧満州から引き揚げ後、本間
の故郷である小国町に住み、菊竹塗装店を
営んだ。妻の甥で養子とした子・敏光は初
期の独立学園卒業生。菊竹塗装店を継ぎ、独
立学園を支えた。

きくたけとしみつ【菊竹敏光】独立学園卒業生。
菊竹種次の子。6-12の註も参照のこと。

きそ【起訴】検察官が裁判所に起訴状を提出し、
被疑者に対して刑の適用を求める提起をする
こと。

きたい【危殆】極めて危険なこと。

きたおぐに【北小国】小国町の北部、朝日連峰
側のこと。

きつねごえ【狐越】狐越街道。山形県西置賜
郡白鷹町と山形市を結ぶ県道 17 号線。

きひもうしたて【忌避申立】不公平な裁判が行
われるおそれのある場合に、その訴訟の当事
者が、その訴訟を担当する裁判官などを、そ
の訴訟から排除するよう申し立てること。

キムギョシン【金教臣】(1901 ~ 1945) 朝鮮の
無教会の創始者であり指導者。18 歳で日本に
留学し、内村の聖書集會に出席した。約 60
回にもわたるロマ書(ローマの信徒への手紙)
講義のすべてに参加した金教臣からその感想
と感謝を伝えられた内村は感激し、「将来余
を最も能く解して呉れる者は或は朝鮮人の
中より出るのであるかも知れない。」(内村鑑
三全集 34 巻 p.104) と日記に記した。東京高
等師範学校(現筑波大)を卒業した金教臣は
帰国し、教師として働きつつ「聖書朝鮮」誌
を創刊し、自ら企画・執筆・編集・発行など
を行った。1942 年、聖書朝鮮誌に執筆した
「弔蛙」という短い文章(寒さで死んでしまっ
たと思っただカエルがまだ生きていたという内
容)が朝鮮独立の主張と疑われ、金教臣のみ
ならず読者 300 名以上(人数については詳細

不明、400 名との記述もある)が逮捕された。

この「聖書朝鮮事件」により聖書朝鮮誌は廃
刊に追い込まれた。逮捕から約一年後に金教
臣を含む最後の 13 人が不起訴処分となり釈
放されたが、金教臣は朝鮮解放(すなわち日
本の敗戦の日、1945 年 8 月 15 日)前の 1945
年 4 月 25 日、44 歳の若さで病死した。金教臣
は入獄中も信念を貫き、創氏改名や日本語
常用に応じなかったとされる。金教臣を師と
仰ぐ李贇甲、朱逵魯が後年、独立学園の姉
妹校であるブルム学園を創立した。金教臣や
朝鮮の無教会に関しては、鈴木弼美 召天 30
周年記念誌「基督教独立学園のあゆみ」p.158
以降に詳しいので、ぜひ参照されたい。→ブ
ルム学園

ギャリソン William Lloyd Garrison (1805 ~
1879)、アメリカの奴隷解放運動の指導者。
即時かつ無償での奴隷の解放を最も早い時期
から主張しつづけた一人。奴隷解放運動の代
表的機関紙、The Liberator(解放者)を発刊し、
廃刊まで編集長を務めた。奴隷制攻撃のあま
りの激しさのため暴徒に襲われ、殺されかけ
たこともある。

きゆうせいぐん【救世軍】社会活動を重んじる
キリスト教プロテスタントの教派。1865 年に
ロンドンのスラム街でウィリアム・ブース牧
師夫妻らによって始められ、1878 年から救世
軍(The Salvation Army)という名称となっ
た。軍隊方式の組織を採用しているのが特徴
で、ロンドンに万国本営を置き、世界各国に
本営一連隊一小隊一分隊などの組織を置いて
いる。日本では山室軍平(1872 ~ 1940)が中
心となり日本救世軍が発展し、特に廃娼運
動や結核療養所設立などの社会奉仕活動に
よって注目された。

キューリーふさい【キューリー夫妻】妻である
Marie Curie (1867 ~ 1934) は、フランスの
物理学者・化学者。夫である物理学者 Pierre
Curie (1859 ~ 1906) の死後、ラジウムの分
離に成功。1903 年、夫と共にノーベル物理学

賞、1911年にはノーベル化学賞を受賞した。
きょうさんしゆぎ【共産主義】私有財産制を否定し、生産手段や生産物をすべて共有することによって貧富の差のない社会を築こうとする思想・運動。社会主義は、共産主義社会体制の第一段階とも呼ばれる。

きょうつういちじしけん【共通一次試験】国公立大学への入学志願者に対し、各大学が実施する試験に先立ち、全国一斉で同一問題により行った試験。1979年度～1989年度まで実施。その後「大学入試センター試験」に改変され、2020年度からは「大学入学共通テスト」へと改変された。

きよくがくあせい【曲学阿世】学問の真理を曲げて、世間や権力者におもねること。

きりすときょうどくりつがっこう【基督教独立学校】1934年（昭和9年）9月開学。建学の理念は本書7-1を参照のこと。鈴木のおうしょう 召や治安維持法違反被疑での収監に伴う休校期間が長かった。戦後、1948年4月26日に山形県の認可を受け、キリスト 基督教独立学園高等学校となった。（文部省が法人の認可をしたのは1949年5月1日。）

ぐうぞう【偶像】木・石・土・金属などで作った像。信仰の対象とされるもの。神仏にかたどって作った像。それらを宗教的对象として崇拝・尊重するのが偶像礼拝（崇拝）。

クーデター 非合法手段に訴えて政権を奪うこと。

くしき【奇しき】不思議な、神秘的な。霊妙な。
グラッドストーン William Ewart Gladstone (1809～1898)、イギリスの政治家。

くろさきこうきち【黒崎幸吉】1886～1970)、内村門下の無教会指導者。『註解新約聖書』、『旧約聖書略解』などを執筆。

くろぬまえいち【黒沼栄一】独立学園旧講師、山形大学教授。基督教独立学園維持会の発起人。山形大学聖書研究会（ほんじょうかい）を引率して独立学園に度々来校した。

クロムウェル Oliver Cromwell (1599～1658)、

イギリスの軍人・政治家。清教徒。清教徒革命で議会軍を率いて王軍を破った。1649年には国王チャールズ1世を処刑し、イギリス史上唯一の共和制を宣言。1653年に護国卿となった後は軍事独裁により政権を維持した。死後跡を継いだ息子リチャードは力不足で間もなく辞職。1660年に王政が復古した。

ぐんじんちよくゆ【軍人勅諭】1882年に明治天皇が陸海軍人に与えた勅諭で、正式名称は「陸海軍軍人に賜はりたる勅諭」。軍隊の天皇直属をうたい、第二次世界大戦の敗戦まで旧日本軍の精神的中核だった。勅諭とは、明治憲法下で天皇が自ら下した告諭。勅語とは異なり、訓示的な意味をもつ。敗戦後の1948年、国会で教育勅語などとともに失効が確認された。

けい【兄】キリスト教を信じる人たちの間で呼び合う、男性への尊称のようなもの。年上の人にも年下の人にも用いる。

けいおうふつうぶ【慶応普通部】慶應義塾には幼稚舎（初等教育）から大学科までの一貫教育の体制があり、現在の普通部は中学校に相当する。ただし、鈴木が在学した頃の普通部は、就業年数5年の旧制中学校。

啓示【啓示】人知では知ることのできない神秘を、神自らが、人間に対する愛のゆえに、覆いを除いてあらわし示すこと。キリスト教やユダヤ教などで、神自らが、人知を越えた真理を人間にあらわし示すこと。

けいりん【経綸】国家を治めととのえることや、そのための施策のこと。

ゲーテ Johann Wolfgang von Goethe (1749～1832)、ドイツの詩人・作家・劇作家。

ゲティスバーグの演説【ゲティスバーグのえんぜつ】ゲティスバーグは、アメリカ合衆国北東部、ペンシルヴァニア州南部の地名で、南北戦争中の1863年に北軍が南軍を破った地。同年、リンカーンがこの地で行った「ゲティスバーグの演説」(Gettysburg Address)は、「人民の人民による人民のための政治」とい

うフレーズで特に有名。鈴木はこの演説の Hay Copy と呼ばれる版を引用したと思われる。

けんじ【検事】現在の検察（官）。犯罪を捜査して刑事事件の公訴を行い、裁判の執行を監督する。

げんていかくせんそう【限定核戦争】全面的な核戦争ではなく、部分的また限定的に核兵器を使用する仮定上の戦争のこと。1980年代、アメリカのレーガン政権時代に議論されたが、限定核戦争の構想は核の抑止効果を弱め、核攻撃を誘発する可能性を高めることとなるため、別の形での防衛力強化が図られるようになった。鈴木が文中で述べているのは、米ソが核戦争をしたとしても、それは米ソ両国をつぶし合う全面核戦争ではなく限定核戦争となり、その際の戦場となって破壊されるのは日本となることを、中曽根首相（当時）が首相として了承したということだろう。近年、その影響力の強さゆえに実際には使えない強力な戦略核兵器ではなく、より小型で威力が弱く、射程距離が短い戦術核兵器、いわゆる「使える核兵器」を使用する研究がなされているが、この流れは限定核戦争論の延長にあると言えるかもしれない。ただし、戦術核兵器は、戦略核兵器と較べれば小型で威力が弱くなる傾向があると言えるだろうが、なお途方もない威力を有している。たとえば、2020年2月に米軍が実戦配備を発表した小型の潜水艦発射型弾道ミサイル弾頭・W76-2の威力は、5～7キロトンと言われる。広島に投下された原爆の威力が15キロトン程度であるため、威力はその三分の一から半分程度にもなる。同じく潜水艦から発射される、改良前のW76の威力にいたっては100キロトン級であり、広島型原爆の6倍以上である。2022年2月にロシアがウクライナへの侵攻を開始して以降、戦術核兵器の使用の可能性について語られることがあるが、戦術核兵器を使用可能な核兵器と安易に考えることは致命的な誤り

である。

けんどう【献堂】新しい建物を神に^{さき}献げること。

けんぺい【憲兵】旧日本陸軍にあった軍事・行政。司法警察。またその任にあたった軍人。国民生活全体を監視し、思想弾圧などを行った。

げんり【原理】事物や現象を成り立たせている根本の法則。また、認識や思想の根本となる理論。

こいけなおし【小池兌】小国伝道に参加した後、南カリフォルニア大学へ留学。翌1928年に小国伝道を行った鈴木と政池は、前年に小池の聖書講義を聴いた小国の青年男女数名に書いてもらった寄せ書きをアメリカの小池に送り、半ばホームシックだった小池を大いに元気づけ、喜ばせた。

こうし【孔子】（前551～前479）中国、春秋時代の学者・思想家。くじ。

こうせいへのさいだいいぶつ【後世への最大遺物】内村鑑三の著書。1894年（明治27年）の内村の講演を書籍化したもの。2011年に改版されている。鈴木在任中のみならず没後もしばらくは、独立学園の読書の授業の必読書だった。

こうり【公理】数学・論理学で、自明な真理として認められ、他の定理や命題を証明する前提となる根本命題。

こうりごう【黄履鰲】台湾出身の医師。内村門下で鈴木先輩。東京で開業していた。1943年8月26日から30日にかけて、医師のいない叶水地区を政池仁と共に訪れ、地域の方々を診察したこともある。黄の娘・聡美は10-2-20に登場する伊藤邦幸医師の妻。

こくたい【国体】国家体制。特に太平洋戦争終戦までは、天皇を中心とした日本の国家体制のこと。

こくたいめいちょううんどう【国体明徴運動】天皇機関説（天皇は国家の一機関にすぎないという明治憲法の解釈）の排撃に向けて、軍部と右翼が起こした運動。これにより憲法の

立憲主義的解釈は否定され、議会の地位低下に拍車がかかった。

こじん【吾人】わたくし。また、われわれ。

こせきたえこ【小関妙子】独立学園卒業生、旧職員。結婚後、夫妻でネパールでの伝道活動に従事した。父は独立学園元理事長。

こせきみつる【小関充】(1927 ~ 2016)、本書『真理と信仰』の企画・編集の中心的存在。独立学園元理事長。庄司源弥主催の馬槽会で信仰を得、後に矢内原忠雄に師事した。山形県内を中心に展開した「ホームセンタージョイ」を創業。社是を「正直に、親切に、勤勉に、几帳面に、人の役に立つ店になろう」とし、信仰が商売成功の秘訣と語った。強力な支援者として、何年にもわたり独立学園に資材や灯油などを利益抜きで届け続けた。

このつみびとのかしらにあふるるおんちょう【この罪人の首に溢るる恩寵】原題は、Grace Abounding to the Chief of Sinnersで、『天路歷程』の著者として著名なバニヤンの精神的自伝と言われる。バニヤンは、当時のイギリスで唯一正当の教派とされたアングリカン・チャーチ（英国国教会、聖公会）には属さず、別の教派の礼拝で説教をしたため逮捕された。アングリカン・チャーチに属すこと、そして説教をやめることを約束すれば禁固6ヵ月だったが、バニヤンはその条件を拒否。最終的には12年を刑務所で過ごした。その間に社会のほうが変化し、アングリカン・チャーチに属さず、説教を続けることも認められた形で釈放された。Grace Abounding to the Chief of Sinnersは服役中に執筆され、服役中の1666年に出版された。完成直後、依然として服役中に、代表作である『天路歷程』の執筆を開始（諸説あり）。バニヤンは1672年に釈放されたが、1675年に再度6ヵ月間服役。『天路歷程』（前編）の出版は、二度目の釈放後の1678年、後編の出版は1684年。

こびゅう【誤謬】あやまり。まちがい。

こぶいむら【古武井村】現在の函館市古武井町

と思われる。

こまつ【小松】現在の山形県東置賜郡川西町。

コロムウェル → クロムウェル

コネチカットがわ【コネチカット河】コネチカット川。

こんのかずこ【今野和子】旧姓・鈴木和子、現・今野和子。鈴木夫妻の子で、独立学園一期生。本書PDF版の監修者。

こんのとしすけ【今野利介】独立学園旧理事、旧職員。本書再版の際にはあとがきを執筆。化学をはじめ、多くの教科を担当した。鈴木の子と結婚。

こんろんざん【崑崙山】中国の古代神話上の霊山で、最も神聖な山とされた。中国の西の地にあるとされ、黄河の水源があると考えられていた。

さいとうそうじろう【齋藤宗次郎】(1877 ~ 1968)、現・岩手県花巻市出身の無教会キリスト者、内村の弟子。小学校の訓導（教員）であった齋藤は、日露戦争の際の内村の非戦論に影響を受け、納税拒否や兵役忌避による非戦の決意を固めた。しかし、それに反対した内村は1903年12月19日に花巻の齋藤を訪問。内村の「真理と真理の応用を混同すべからず」との説得により齋藤は翻意したが、時すでに遅く、最終的に退職に追い込まれた。翌12月20日に行われた内村の講話に関する詩（作者は「参会者の一人」）が「聖書の研究」48号（内村鑑三全集12巻p.29以降）に収録されている。齋藤はたびたび内村に母を送っており、その礼状が内村全集に多数収録されている。（内村鑑三全集33巻p.119以降）1926年に上京し内村のそばに仕え、内村が死の床についた際には内村の隣室に泊まり日夜看病に尽くした。齋藤は宮沢賢治と親交があり、そのため宮沢の「雨ニモマケズ」の中の「デクノボー」のモデルを齋藤とする説があるが、真偽は不明。なお、原書で鈴木は齋藤と表記しており、内村は齋藤とも齋藤とも表記している。

さいりん【再臨】世界の終末の日にキリストが再びこの世に現れること。

さかえさん【栄さん】→井上栄

さかたたく【坂田祐】(1878 ~ 1969)、内村の門下生で、関東学院初代学院長。

さくらいじゅんじ【桜井淳司】1964年から1965年まで在職した、独立学園旧職員。桜井女塾を創設した桜井ちかの曾孫。1979年、福島県にニューライフカレッジを設立。

さくらいじょじゅく【桜井女塾】桜井ちか(1855 ~ 1928)が創立した学校の一つ。1895年に設立した小規模な寄宿学校を、1898年に桜井女塾へと名称変更した。なお、桜井が1876年に創立した桜井女学校は、現在の女子学院の前身。

ささきりょうご【佐々木良伍】無教会のクリスチャン。戦後は荒砥(現在の白鷹町)に居住、その後仙台へ移り、尚綱学園で教職に就いた。1948年5月26日の独立学園創立式において祝辞を述べている。

さっぽろのうがっこう【札幌農学校】北海道の開拓指導者養成のための学校で、北海道大学の前身。1872年に東京で開拓使仮学校として開校後、1875年に札幌に移転し札幌学校となり、翌1876年に札幌農学校と改称した。Boys be ambitious.で有名なW. S. クラーク(1826 ~ 1886)が初代教頭。クラークが直接指導したのは一期生のみで、内村や新渡戸稲造などの二期生以降の生徒とは、在学中の直接的な関わりはなかった。

さとうえいさく【佐藤栄作】(1901 ~ 1975)、元総理大臣。総理在任中に沖縄返還が実現。1949年、首相在任中の非核三原則などの政策によりノーベル平和賞受賞。

さとうしろう【佐藤司郎】(1918 ~ 2014)独立学園旧講師、村上聖書集会を主催。朝鮮生まれ。1937年、京城師範学校卒業、1945年に日本へ引き揚げるまで小学校や国民学校で勤務。京城師範学校在学中に、友人から聖書と金教臣、矢内原忠雄を紹介され、「聖書朝

鮮」、「嘉信」を読むようになった。戦後、新潟県の小学校教諭、中学校教諭となり、勤務した最後の2校では校長を務めた。退職後、独立学園講師として国語の授業を担当するかたわら、夜には有志参加の韓国語講座を開き、朝拝では韓国語讃美歌の指導などを行った。韓国からの来客の際の通訳としても活躍した。

さとうのぶ【佐藤のぶ】米沢市に居住。くる病で歩けなかったが、後に歩けるようになった。政池仁発行の「聖書の日本」の古くからの読者であり、矢内原発行の「嘉信」の読者でもあった。確かではないが、鈴木^{かのみず}の叶水移住の精神的な支えとなったという証言もある。また鈴木^{かのみず}が叶水から山形県内や全国各地へ伝道旅行などに出かける際には佐藤宅に宿泊することも多かった。第二次大戦中、ホーリネス教団の指導者などとして著名な米田^{よねだ}豊^{ゆたか}牧師(1884 ~ 1976)の妻と娘^{めぐみ}が佐藤家近くの南雲家に疎開していた。米田自身はホーリネスの信仰のゆえに1942年6月に逮捕され、裁判で実刑判決を受けていた。(1945年4月に保釈。)佐藤は疎開中の米田^{よねだ}母^{おや}娘^この世話をした。鈴木^{おい}の甥^{あま}である天野^{あま}隆^{のりゅう}治^じは当時も度々^{たび}叶水^{かのみず}を訪れており、その際に佐藤とも会っていた。佐藤が仲人^{なこうど}のような役割を果たし、後に米田^{よねだ}恵^{めぐみ}と天野^{あま}隆^{のりゅう}治^じは結婚。ホーリネスの重鎮^{じゅうちん}である米田^{よねだ}の娘^{おひ}とが結婚するのは大問題だったようだが、結婚披露宴^{なご}は和やかだったと出席者の一人は回想している。なお、天野^{あま}隆^{のりゅう}治^じは1985年に独立学園副校長に、天野^{あま}恵^{めぐみ}は職員となった。

サムエル イスラエル初代の王であるサウルを見出す(サムエル記上9章)などした、旧約聖書の重要登場人物。聖書中、「預言者」(同3章20節)、「神の人」(同9章7節)、「先見者」(同9節)と呼ばれている。

さわなか【沢中】羽前沼沢^{うぜんぬまざわ}駅から桜峠^{ぬま}まで、沼沢^{さわ}、白子沢^{しらこざわ}、沢中^{さわなか}、桜と集落が続く。桜峠を越えた先が市野^{いちの}々^のだった。現在は、沢中^{さわなか}、桜^い、市野^{いちの}々^のに人は住んでおらず、集落として

は残っていない。

さんじょうのすいくん【山上の垂訓】マタイによる福音書 5 章 3 節～ 7 章 27 節。イエスがガリラヤ湖畔の山上で行ったとされる説教。山上の説教とも。

さんみいったい【三位一体】キリスト教における「三位一体」とは、三つのペルソナ(位格)、すなわち「父なる神」と「子なるキリスト」と「聖霊」は一体であるということ。父と子と聖霊は別の存在ではなく、唯一の神が三つのペルソナとなって現れたものであり、もとは一体であるということ。

シーリー Julius Hawley Seelye・ジュリアス・ホーリー・シーリー (1824 ~ 1895)、アマースト大学学長、牧師。新島襄、内村鑑三に、絶大な影響を与えた。→アマースト大学しかるに【然るに】そうであるのに。それなのに。

スティーナレいはいどう【スティーナ礼拝堂】ローマ教皇庁にある礼拝堂。1473 年～1480 年にシクストゥス 4 世が創建。ミケランジェロの天井画(天地創造など)、壁画(最後の審判)で著名。

しとうれいじろう【市東礼次郎】日本友和会元書記長。

シベリウス Jean Sibelius, 1865 ~ 1957)、フィンランドの国民的作曲家。交響詩フィンランドディアの作者。

しほんしゅぎ【資本主義】生産手段を持つ資本家が労働者から労働力を商品として買い、その労賃を上回る価値をもつ商品を生産することによって利潤を得る経済体制。

しまとしお【島敏夫】(1943 ~)、裁判官。1982 年 4 月から 1986 年 3 月まで、山形地家裁米沢支部長を務めた。2008 年に定年で退官。2006 年、大阪高裁 2 刑部総括時代、平野母子殺害事件の控訴審(大阪高裁)において裁判長を務めた。一審の大阪地裁の判決は無期懲役だったが、二審の大阪高裁で島は死刑判決を下した。しかし、審理が尽くされておらず、また

事実誤認の疑いがあるとして、最高裁は高裁の判決を破棄し、地裁へ差し戻した。死刑判決が下された事件を最高裁が差し戻すことは極めて異例。差し戻し審にあたり、大阪府警が極めて重要な証拠を紛失し、さらに警察も検察もその事実を開示していなかったことなどが発覚。差し戻し審の大阪地方裁判所において、検察はあらためて死刑を求刑したが、2012 年 3 月に無罪判決が言い渡された。検察側は控訴したが、2017 年 3 月に大阪高裁は検察の控訴を棄却。検察が上告しなかったため、無罪が確定した。

しゃせいにつし【舎生日誌】夕拝の担当者が感謝を記入するノート。歴代の舎生日誌は保存されている。

しゅ【主】キリスト教で、神またはイエス・キリストを指す呼び名。

しゅうがくりょこう【修学旅行】独立学園の修学旅行の期間は最長 18 泊 19 日、費用は 10 万円強で行う。行き先、内容などの計画はもちろん、諸交渉や予約や支払いなども生徒が中心となって実施している。

じゅうじや【十字屋】かつて百貨店などを全国展開していた企業。創業者の山藤捷七(1894 ~ 1955)は、結核療養中にクリスチャンとなり、内村鑑三の聖書講義にも出席した。1923 年に神奈川県平塚市で十字屋呉服店を開業。十字屋という店名は十字架からとったもので、神と貧しい人のために働くことを目指し、奉仕に明けて奉仕に暮れるという標語を掲げた。山藤は十字屋での聖書講義を矢内原忠雄に依頼したが、多忙だった矢内原に代わって日暮勝英が担当した。矢内原が 1951 年(昭和 26 年)4 月の『嘉信』に記した「信仰と商売」という文章は、十字屋と山藤に向けてのメッセージと言われる。山藤を十字屋初代社長とすると鈴木俊郎が 3 代目の社長を務め、日暮は旧郵政省を定年退職後、十字屋の労務部長・能力開発室長を務めた。山形駅前の山形店は 1971 年 6 月に開店したが、それ以前にも

山形駅から 1km 余り北東の七日町なの かまちで営業していた。山形県内には山形店の他に、米沢店よねざわ、寒河江店さ が えがあったが、最後に残った山形店も 2018 年に閉店した。十字屋山形店での聖書講話は、鈴木まさいけじんの他、政池仁ひぐらしかつひで、日暮勝英こせきみつる、小関充さんとう等が担当した。鈴木と山藤さんとうに面識があったかは不明。

じゅうしゅぎけいざい【自由主義経済】アダム・スミスが始めた古典派経済学のこと。

しゅうらく【集落】独立学園周辺の地区。独立学園しもかのみずは下叶水地区かのみずにあり、その周りには、上叶水あらかた おおしざわ、新股、大石沢などの地区がある。なお、原書の表現は現在では適切でないため、集落と改めた。

しゅくつむら【祝津村】現在の小樽市おたるの「おたる水族館」のあたりと思われる。

しょうじげんや【庄司源弥】矢内原や ないはらの弟子。矢内原が帝大（東大）を迫われた後、初めての講演会を企画・実施した一人。電信電話局（現 NTT）員で、山形県内や仙台で勤務した。1946 年、山形電気通信工事局係長だった際に部下に呼びかけ、馬槽会まぶねかいという聖書研究会を発足させた。米沢電話局時代は局長。

じょうせき【定石】物事を処理するときの決まった仕方。

しょうないちほう【庄内地方】山形県の北西部。鶴岡市、酒田市がある地域。

しよじょこうたん【処女降誕】聖霊によってマリアがイエスを身ごもり、出産したこと。

シラー Friedrich von Schiller (1759 ~ 1805)、ドイツの詩人、劇作家。ベートーヴェンの交響曲第 9 番の第 4 楽章の合唱の歌詞は、シラーの詩「歓喜に寄す」による。

しらすきゆうすけ【白崎裕介】父は独立学園元理事長の白崎吉郎。

シルエット 独立学園の歴史を影絵で表現したもの。本書 6-5 では「影絵物語」と記されているが、現在はシルエットと呼ばれ、創立記念式の前夜に上映される。

しんきょう【新教】キリスト教のプロテスタン

ト諸教派の別称。⇔旧教。

しんこうひとりたび【信仰一人旅】諏訪熊太郎す わくまたろうの著書。初版は 1950 年に聖泉会刊。その後、1975 年にキリスト教図書出版社から改訂版が出版された。

しんせいこうこう【新制高校】戦後、1948 年に発足ほつそくした現在の高等学校の制度。

じんまち【神町】山形県東根市。

しんらん【親鸞】(1173 ~ 1262)、浄土真宗じょうどしんしゅうの開祖ほうねん。法然の弟子。

すけがわのぶ【助川暢】独立学園第三代校長。北海道大学在学中に、独立学園 9 期生の修学旅行の札幌案内をしたことをきっかけに独立学園ふにんに赴任した。

すずきとしろう【鈴木俊郎】内村関係の著書多数。独立学園初期の評議員。

すずきひろ【鈴木ひろ】(1907 ~ 1995)、鈴木まさいけの妻。旧姓は政池。

スターリン Iosif Vissarionovich Stalin (1879 ~ 1953)、ソ連の政治家。1922 年以来共産党書記長。1930 年代には大量粛清しゅくせいを行って個人独裁じゅりつを樹立した。

ストーふじん【ストー夫人】Harriet Beecher Stowe (1811 ~ 1896)、アメリカの女性作家。

すながわじけん【砂川事件】東京都北多摩郡砂川町きた た まぐんすな がわちょう（現立川市）にあった、米軍立川飛行場拡張反対闘争に関する事件。1957 年 7 月 8 日、基地拡張のための測量に反対するデモ隊の一部が基地内に侵入し、7 名が起訴された。この事件の裁判において初めて、旧安保条約が合憲かどうか法廷で争われた。1959 年 3 月 30 日、東京地方裁判所は米軍駐留は憲法第 9 条違反であるとして無罪判決を下した。この判決は、伊達秋雄だてあきお裁判長（1909 ~ 1994）の名前をとって伊達判決だてと呼ばれる。検察側は最高裁判所に跳躍ちようやく上告。同年 12 月 16 日、最高裁は、安保条約は高度の政治性を有する統治行為であり、例外的に裁判所の審査権が及ばないとして、原判決げんである伊達判決だてを破棄し、東京地裁に差し戻した。結果的には、

(旧)安保条約や米軍の駐留は事実上合憲とされ、1963年12月に被告人の有罪が確定した。米軍立川飛行場は1977年に日本に全面返還され、現在は一部が防衛省所管の軍用飛行場となっている。なお、伊達秋雄裁判長は、伊達判決の2年後、1961年に弁護士に転じ、その後は法政大学法学部教授となった。鈴木は左遷されたと述べているが、真偽は不明。
スミルナ 現在の名はイズミル。トルコの西端で、エーゲ海に面する古代都市。

すわくまたろう【諏訪熊太郎】(1890～1975)
内村門下のキリスト教伝道者。大正末期から昭和の初期にかけて、山形県鶴岡市を中心に、庄内地方の最上川以南の146もの村落で農村路傍伝道を行った。祖父は山形県酒田市生まれ。5人兄弟の末っ子だった父が山形県鶴岡市の諏訪家に婿入りした。諏訪熊太郎も5人兄弟の末っ子で、長男。諏訪を恩師と呼び、酒田市で広岡聖書研究会を開いた久保伊作は、諏訪の従兄弟の子にあたる。その久保の著書である『農夫が語るキリスト教』には鈴木が序文を寄せている。なお、久保伊作の弟・源蔵は、独立学園元理事長・白崎吉郎の姉の夫。白崎は若き日に諏訪の講義を聴いた時のことを以下のように記している。「先生はいつも講義のときは、羽織・袴の姿にて端然と座り、(中略)御講義が熱し最高潮に達するや、大声を張りあげ、障子に響きわたり、又テーブルを叩き真剣勝負そのものでありました。私達は頭の前から足の裏迄、電気の様なもの走り緊張致しました。」(『マタイ伝山上垂訓・ヨハネ伝告別遺訓素人講義』p.8) 諏訪については本書6-10、6-11も参照のこと。

せいきょうと【清教徒】16世紀後半、イギリス国教会の宗教改革をさらに徹底させようとしたプロテスタントの一派。キリストの教えの遵守と清純な生活を理想とした。ピューリタン。

せいさん【聖餐】イエスの肉体の象徴である

パンと、イエスの血の象徴であるぶどう酒を信徒で分かちあうキリスト教の儀式で、現在も教会で一般的に行われている。いわゆる「最後の晩餐」に由来する。

せいしよのげん【聖書の言】石原兵永が発行していた聖書雑誌。聖書の言と読む人もいるが、石原聖書集会の大部分の人は聖書の言と読んでいたとの確認がとれたため、聖書の言と表記した。

せいしよのほん【聖書の日本】「聖書の農村」を改題し、1938年から政池仁が刊行したキリスト教の伝道雑誌。発行の経緯は本書6-14を参照のこと。太平洋戦争中の1944年、時局批判のため廃刊処分となったが、戦後復刊し、1982年に545号で終刊となった。

せいしよのうそん【聖書の農村】1934年に政池仁が創刊したキリスト教の伝道雑誌。発行の経緯については本書6-14を参照のこと。

せきやまとうげ【関山峠】宮城県仙台市青葉区と山形県東根市との間にある峠。国道48号線が走る。

せたな【瀬棚】現在の北海道久遠郡せたな町。北海道西部の町。独立学園の修学旅行では、せたな町とその隣の瀬棚郡今金町の農家で農業実習をすることが多い。

ぜったい【絶対】絶対的。何物とも比較したり置き換えたりできず、また、他からどんな制約も受けないさま。⇔相対的

ぜったいひせん【絶対非戦】非戦は、内村が多用了ことば。1894年～1995年の日清戦争を義戦(「日清戦争の義」、内村鑑三全集3巻p.104～p.112)とした内村だったが、その後の自らの過ちを認め、1903年9月17日付「聖書の研究」第44号では、絶対的非戦主義の立場から日露戦争開戦への反対を主張している。(内村鑑三全集11巻p.404)

セラフィム【セラフィム】九天使中最高位の天使で、六つの翼を持ち神の玉座に仕える。熾天使。

ぜんこう【前講】主たる聖書講義の前に行われ

る講話。

ぜんめんこうわ【全面講和】戦後の日本においては、ソ連を含む一切の敵国との講和を結ぶこと。吉田茂が調印したサンフランシスコ講和条約（対日講和条約）では、連合国 55ヶ国のうちソ連などを除く 48 カ国だけが参加し、全面講和は成らなかった。

せんれい【洗礼】一般に、キリスト教で信者となるための儀式。水で罪を洗い清め、新たな命へ入ることを意味すると言われる。ただし、無教会では洗礼の儀式を信者の必須条件とはしない。

そうたいてき【相対的】物事が他との関係や比較の上に成り立つさま。⇔絶対的。

そうりつきねんしき【創立記念式】^{キリスト}基督教独立学園高等学校創立式が行われたのは 1948 年 5 月 26 日であるが、このころ創立記念式の日付は年によって異なっていた。たとえば、独立学園史上初めての創立記念式は創立 5 周年を記念したものであるが、1953 年 7 月 29 日に開かれている。5 月 26 日の実施が基本となるのは、1958 年の創立 10 周年以降のことである。

ぞくする【族する】本書では、滅ぼすの意で使われている。

ソクラテス（前 470 ～前 399）古代ギリシャの哲人。

ソレン【ソ連】ソビエト社会主義共和国連邦の略称。ほぼ、現在のロシア連邦。

ソンドウヨン【宋斗用】（1904 ～ 1986）朝鮮の無教会の伝道者。1925 年に日本に留学し、東京農業大学の予科に在籍中、^{キムギョシン}金教臣らと共に内村の聖書集会に出席。帰国後、ソウル市外^{オリュドン}の梧柳洞で農業を営みつつ^{キムギョシン}金教臣と共に集会を開き、熱心に伝道を行い、聖書朝鮮事件では^{キムギョシン}金教臣と共に約一年間投獄された。1931年、^{ソンドウヨン}宋斗用の自宅で^{キムギョシン}金教臣と共に夏と冬の聖書研究会を開いたことを機に、毎週一度の^{オリュドン}梧柳洞聖書研究会（^{オリュドン}梧柳洞集会）が開かれるようになった。^{オリュドン}梧柳洞は地名で、^{オリュドン}梧柳洞一帯

^{ソンドウヨン}は^{ソンドウヨン}宋斗用の家の土地だった。^{ソンドウヨン}宋斗用が亡くなるまで指導した^{オリュドン}梧柳洞集会は、小さな図書館である文庫で現在も毎週日曜日に続けられており、^{ソンドウヨン}宋斗用が発行した聖書雑誌である「聖書信愛」も、現在に至るまで刊行が続いている。1951 年には^{ソンドウヨン}宋斗用の甥が^{オリュドン}梧柳洞に^{オリュ}梧柳愛育園という孤児院を設立。^{ソンドウヨン}宋斗用は園の運営に直接は参加しなかったが、運営委員会の顧問となり、愛育園はキリストの精神に従って運営されている。^{オリュ}梧柳愛育園は、現在も児童福祉施設として続いている。^{オリュドン}梧柳洞集会は行事ごとに^{オリュ}梧柳愛育園の講堂を利用するなど、互いに深い関係にある。^{ソンドウヨン}宋斗用はまた、^{オリュ}梧柳学園という小学校を 1933 年から 1945 年まで（以後は公立学校となった）運営し、1950年代には^{チャンボンド}長峰島にプルン学園という中学校を設立した。鈴木はこの中学校を 1973 年に訪問している。^{ソンドウヨン}宋斗用は鈴木にとって大切な友人であり、1965 年に^{ソンドウヨン}宋斗用が来日し、独立学園を訪問する際、待ちきれずに東京まで会いに行き、35 年振りの感動の再会を果たしている。^{ソンドウヨン}宋斗用はその後、5 月 27 日に独立学園の第 17 回創立記念式で式辞を述べた。1981年、鈴木は病床の^{ソンドウヨン}宋斗用を見舞うために訪韓。1986 年の彼の死後にも再び訪韓し、^{ぼひ}墓碑の除幕式に出席した。

だいがくふんそう【大学紛争】大学の方針などに不満を抱く学生と大学当局との間で起こる争い。日本では、1960 年代後半に頻発した。

たいけん【大圏】地球の中心を通る平面が地面と交わってできる円。

たいけんコース【大圏コース】^{たいけん}大圏航路。地球^{だいえん}の大円（^{たいけん}大圏）に沿った航路。地球上の二点間の最短距離。

たいそうじょう【体操場】講堂兼体操場。

だいたうあせんそう【大東亜戦争】太平洋戦争の日本側での当時の公称。

だいはちこうとうがっこう【第八高等学校】旧制高校の一つ。1908 年（明治 41 年）、名古屋に開設され、1949 年（昭和 24 年）、新制名古屋

屋大学に統合された。

たかつりょうへい【高津亮平】本書 6-7 の訳者である小関妙子氏の夫。略歴は本書 10-2-20 に記されている。

ただおせんせい【忠雄先生】→^{ますもとただお}榎本忠雄

たなかかくえい【田中角栄】1918 ~ 1993)、昭和後期を代表する政治家、元総理大臣（1972 ~ 1974）。首相在任時に、日中国交正常化を実現した。新潟の農村に生まれ、貧しい幼少期を過ごし、高等小学校しか卒業していない（後に現在は専門学校となった学校で土木を学んだ）という非エリートの経歴から、角栄ブームが巻き起こり、^{いまたいこう}今太閤（現代版豊臣秀吉の意）とも言われた。しかし、田中が進めた日本列島改造論の失敗や第一次オイルショックなどにより物価が急騰。また、1974年 10 月、田中が自らの地位を利用して不当に資産形成をしていたことが週刊誌に暴露され、田中人気は急落。同年 11 月に首相を辞任した。さらには、1976 年 2 月、戦後最大の汚職事件と言われるロッキード事件が発覚。田中に関するロッキード事件とは、1972 年 8 月の田中・ニクソン会談において、当時総理大臣だった田中角栄が、アメリカのロッキード社の大型旅客機と軍用機の導入を約束し、その見返りとして 5 億円を不当に得たというもの。田中は 1976 年 7 月 27 日に逮捕され、8 月 16 日に起訴された。一審は懲役 4 年、追徴金 5 億円の有罪判決、二審は一審を支持し控訴棄却、最高裁での上告審の最中に田中が死去したため、^{こうそききやく}公訴棄却（裁判の打ち切り）となった。しかし、別人に対するロッキード事件上告審の中で、最高裁判所は田中が 5 億円を受けとったことを認定した。田中は、ロッキード事件係争中も自民党の最大派閥を率い、政界に大きな影響を保ち続けたため、^{やみ}闇将軍とも呼ばれた。

たなかこうたろう【田中耕太郎】（1890 ~ 1974）、法学者。文部大臣、最高裁判所長官、国際司法裁判所判事などを歴任。妻の影響で

無教会からカトリック教徒となった。

たねざわ【種沢】^{おぐにまち}小国町の地名。^{かのみず}叶水方面から子持峠を越えた先、国道 113 号線に合流するまでの東側あたり。現在の主要道路では、^{かのみず}叶水方面から子持トンネルを越えた先から、国道 113 号線に合流するまでの右手側あたり。

ダビデ イスラエルの最盛期を作ったイスラエルの王。在位は前 1010 頃～前 970 頃。初代の王サウルの後を受け、近隣諸国を征服・併合。エルサレムを攻略して都とし、イスラエルを統一した。

たむらこうぞう【田村光三】独立学園旧理事・旧監事。経済学者、明治大学教授。政池仁の聖書集会の会員。19 期生の卒業記念講演者。本書の註作成にあたり大いに参考にした『鈴木弼美－神に依り頼む独立人－』（シャローム図書、2000 年 10 月 10 日刊行）の著者。

だんがいさいばん【弾劾裁判】^{だんがい}裁判官弾劾裁判所は、裁判官の身分にふさわしくない行為をしたり、職務上の義務に違反した裁判官を辞めさせるかの判断、あるいは辞めさせた裁判官の資格を回復させるかの判断をする裁判所のこと。憲法に基づいて国会が設置する常設の機関で、衆議院議員と参議院議員各 7 名ずつ、合計 14 名の国会議員で構成される。^{だんがい}弾劾裁判所に裁判官の罷免の訴追をできるのは、衆議院議員と参議院議員各 10 名ずつ、計 20 名の訴追委員で構成される裁判官訴追委員会のみである。そのため、鈴木が述べているような形で、国民が直接、^{だんがい}弾劾裁判所に裁判官の罷免の訴追をすることはできない。国民が裁判官を辞めさせたいときは、^{ひめん}裁判官の罷免の訴追を請求する訴追請求状を訴追委員会に提出する。

ダンテ Dante Alighieri (1265 ~ 1321)、イタリアの詩人。主著である^{しゅちよ}神曲は、1307 年～1321 年作の詩編。地獄編・煉獄編・天国編の 3 部に分かれる。

ちあんいじほう【治安維持法】国家体制の変革などを目的とする結社活動や個人的行為に対

する罰則を定めた法律。1925年公布、1928年改正、1941年全面改正。主として共産主義運動の抑圧策として造反者には極刑（死刑）主義を採り、言論・思想の自由を蹂躪した。1945年10月、GHQの指令により廃止。

ちいく【知育】知的認識能力・思考能力を高めるための教育。

チェソボン【崔成鳳】プルム学園の教師。農業や日本語を教えた。1982年8月24日に独立学園を再訪した際は教頭の任にあった。

ちばしん【千葉真】(1949～)、国際基督教大学名誉教授。

ちゅうきょう【中共】中国共産党の略。本書中では、中国の意として用いられている。

ちょうはくさん【長白山】中国東北部と朝鮮との境に聳える火山。標高2,744m。朝鮮では白頭山(パクトサン)と呼ぶ。

ちん【朕】天皇の自称。私。

ちんもどう【陳茂棠】台湾出身の外科医。夫人は陳福子。夫婦共に矢内原集会の会員。陳は独立学園卒業生を看護師見習いとして雇用するなどして独立学園を支援した。

つかもとらじ【塚本虎二】(1885～1973)、キリスト教伝道者。内村門下であったが、のちに内村から独立した。

つがわむら【津川村】小国町の東部、独立学園があるあたりの昔の地名(村名)。

ていだい【帝大】帝国大学。本書中では、現在の東京大学のこと。

ていり【定理】公理を基礎として真であると証明された理論的命題。

テーゼ ある命題・主張を肯定的に提出すること。また、提出された命題・主張。定立。ヘーゲルの弁証法は、定立(テーゼ)・反定立(アンチテーゼ)・総合(ジンテーゼ)の三段階進行。

テニソン Alfred Tennyson (1809～1892)、イギリス、ヴィクトリア朝を代表する国民的詩人。

てのこ【手ノ子】山形県西置賜郡飯豊町手ノ

子。JR米坂線の駅。小国駅から米沢方面に向かって4駅目、伊佐領駅からは2駅目。米沢方面からは、宇津峠の先の駅となる。

デビッド・グレイソン David Grayson は、アメリカのジャーナリスト、歴史家、伝記作家である Ray Stannard Baker (1870～1946)のペンネーム。30年代頃からの独立学園生は、David Graysonの著書である『満足物語』を、デビッド・グレイソン、あるいは略してデビグレと呼んでいる。→満足物語

てらだとらひこ【寺田寅彦】(1878～1935)物理学者・随筆家。地球物理学を専攻、東大教授。夏目漱石の門下。

デルフォイ 古代ギリシャのパルナソス山麓の町で、アポロンの神殿があった地。世界遺産。

てんざん【天山】天山山脈。延長2,450kmにもなる、中央アジアにある多くの山脈の集まり。最高峰は標高7,439mのポペーダ峰。

てんしよく【天職】天から与えられた職。また自分の才能などに最もふさわしい職業。

てんろきてい【天路歷程】The Pilgrim's Progress (1678, 1684)、バニヤンの小説。キリスト教的な寓意の旅物語。→この罪人の首に溢るる恩寵

とうきょうどくりつぎっし【東京独立雑誌】1898年6月、内村鑑三が主筆となって創刊した雑誌。本誌で内村は、痛烈な時事評論をもって社会問題の解決につとめようとした。その基本は個人の独立、自由思想、平民主義の普及にあった。

とうじょうひでき【東条英機】(1884～1948)、軍人・政治家。1941年に首相となり太平洋戦争を開始。戦況の不利に伴い1944年に辞職。敗戦後、東京裁判でA級戦犯となり絞首刑となった。

とうちこうい【統治行為】条約のような高度の政治性を有する問題については、極めて明白に違憲であると認められない限り裁判所の審査対象外であり、内閣と国会の判断にゆだねるべきとする理論。日米安全保障条約が合憲

か違憲かが論点となった砂川事件の審理において 1959 年に最高裁が採用した。→砂川事件

とくいく【徳育】^{じょうそう} 道徳心を育て、人格・情操を高めるための教育。

とくもく【徳目】^{ちゆう こう じん ぎ} 忠・孝・仁・義など、徳を分類した名目。道徳の細目。

どくりつじほう【独立時報】独立学園が発行する機関誌。

とっこう【特高】特別高等警察。旧制で、思想犯罪に対処するための高等警察。内務省直轄で、社会運動などの弾圧に当たった。第二次大戦後廃止。

とぼく【杜牧】^{とぼくし ぼくし あざな あざな} 原文では杜牧之。牧之は字。字とは、中国で成人男子が実名のほかにつけた別名。日本でも平安時代に用いられたほか、^{ぶんじん まね もち しょかつこうめい} 学者や文人が真似て用いた。諸葛孔明として有名な^{しょかつりょう しょかつりょう} 諸葛亮は、諸葛亮が本名で、孔明は字。

トルストイ Lev N. Tolstoi (1828 ~ 1910)、ロシアの小説家・思想家。19 世紀のロシア文学を代表する文豪の一人であり、独自のキリスト教的立場（トルストイ主義）を提唱した。代表作は、「戦争と平和」「アンナカレーニナ」「復活」「イワンのばか」など。

ながいまち【長井町】^{ながい} 現在は山形県長井市。

ながおかまんじろう【長岡万次郎】1941 年に山形県の上山警察所長に就任。後に山形県警本部長となったようである。内村の門下生とまで言えるかは定かでないが、教会に属しつつ内村に高い関心を持ち、警察内で内村関連の聖書研究会を開いてさえいた。また、当時問題視されていた矢内原の講演会を山形で開き、^{とっこう} 特高課警部補でありながらその司会を務めた。（本註は、『図書』2017 年 8 月号、10 月号に加藤典洋が寄せた「大きな字で書くこと ^{その 2}」を参考にして作成した。なお、鈴木を内偵し、日本の方が悪いから日本が負けると鈴木に言われて青い顔をして帰った（本書 8-1-6 参照）のが、当時小国警察署に勤務

していた加藤の父。）

なかそねやすひろ【中曽根康弘】(1918 ~ 2019)、内務省役人、海軍中尉を経て、戦後政治家に転じ、1982 年 ~ 1987 年まで内閣総理大臣。自主憲法制定（憲法改正）をライフワークとし、政界引退後も新憲法制定議員同盟の会長を務めた。総理在任中にアメリカ大統領であったロナルド・レーガンとは、互いをロン、ヤスと呼び合うほどの親密な仲だったと言われる。余談だが、1985 年首相として初めて靖国神社を公式参拝した中曽根だが、軍隊に入隊する際には聖書を持参したと言われている。

ながぬまさいばん【長沼裁判】^{ひらがしよかん} →平賀書簡

なかのはし【中の橋】^{いちのの} 市野々にあった橋の名前。

なごやつねじ【名古屋常治】内村門下で、鈴木^{まさいけ}の先輩。事業家。鈴木夫妻、政池夫妻の仲人。

ナザレ イエスが育ったイスラエル北部の都市。本書中のナザレ人とはイエスのこと。

ナチス 国家社会主義ドイツ労働者党。ナチ党。ヒトラーを党首としたドイツの政党。1945 年ドイツ敗戦とともに崩壊。

ナポレオン Napoléon Bonaparte (1769 ~ 1821)、ナポレオン 1 世、フランスの皇帝。多くの戦争を行った一方、産業の振興、^{しんこう} 学制的改革、行政や司法の再編成などを行ない、フランスの近代化を進めた。

ナポレオンせんそう【ナポレオン戦争】1799 年 ~ 1815 年、フランスのナポレオン 1 世時代に行われた戦争の総称。

なわめ【縄目】縄をかけられている。逮捕されている。

なんばらしげる【南原繁】(1889 ~ 1974)、政治学者、東大教授、東大総長。内村門下で鈴木^{なんばら}の先輩。1954 年 10 月 20 日に独立学園に来校し、講演を行った。南原についてや南原と鈴木^{なんばら}の関係については、本書 6-8、6-9、8-10 も参照されたい。

に・にろくじけん【二・二六事件】1936 年 2 月 26 日、国家改造を目指した陸軍の青年将校らが約 1,500 名の部隊を率いて首相官邸、大

臣や政府首脳らの官邸・私邸、警視庁、新聞社などを襲撃したクーデター事件。永田町一帯が占拠され、大臣などが殺害された。翌日、戒厳令が公布され、29日に鎮圧された。しかし、事件後、軍の規律を正すという名目のもと、軍部の政治支配力が著しく強化された。

ニーチェ Friedrich Wilhelm Nietzsche (1844 ~ 1900)、ドイツの哲学者。神の死を宣言してニヒリズムの到来を告げた。なお内村は「ニーチェは天才である、多分近代に現はれたる最大の天才であらう」(内村鑑三全集 23 巻 p.196)と記し、部分的にはニーチェを高く評価している。

ニーバー Reinhold Niebuhr (1892 ~ 1971)、アメリカの神学者。

ニカイアこうかいぎ【ニカイア公会議】ニカイアは小アジア北西部の古代都市。現在のトルコのイズニク。ニカイア公会議は、325年にニカイアで開かれたキリスト教最初の世界会議。ここでアタナシウスは三位一体説を唱え、カトリックの正統教義を確立した。

にがつかくめい【二月革命】1848年2月22日 ~ 24日、パリに起こった革命。これを契機としてヨーロッパ諸国に自由主義革命運動が勃発した。

ニクソン Richard Milhous Nixon (1913 ~ 1994)、アメリカの第37代大統領(1969 ~ 1974)。共和党出身。1972年の大統領選挙の際、共和党関係者が、ワシントンの「ウォーターゲート・ビル」にある民主党本部へ侵入し盗聴を試みたが、警備員に発見され、逮捕された。その後、大統領の側近のこの事件への関与が明らかになったばかりか、大統領本人の権力濫用なども発覚し、重大な政治問題へと発展した。最終的に、アメリカ史上初めて、現職大統領が辞任するに至った。

にしかわゆうへい【西川勇平】聖書雑誌「恩恵」の主筆。誌面で独立学園の窮状を訴え、校舎建築に必要な石の採石費用として、一口300

円の「一石献金」を始めた。その結果、校舎が完成した1957年末までに95,700円の献金があった。

にしむらひでお【西村秀夫】(~2005)、夫人は西村董子。独立学園高校の最初の3年間に、高等学校としての基礎を作った。西村秀夫は、旧制第一高等学校在学中に三谷隆正、塚本虎二(共に内村の弟子)などの聖書講義を聞き、矢内原発行の聖書雑誌・嘉信を購読するようになった。東京帝大(東大)理学部(化学専攻)に入学後、東京帝大教授だった矢内原の日曜家庭集会へ入会。キリスト者・矢内原忠雄という人格に出会うことによって、自身の最も深いところで変えられる経験をした。

1941年、戦争のために大学を繰り上げ卒業となり、直ちに陸軍兵器学校へ入隊。翌年、陸軍技術中尉として中国東北部の兵器工場へ赴任し、中国人集落に住み込んだ。その後、一時帰国し、矢内原の司式で下永董子と結婚。1945年8月、敗戦に際し集団自決の危機に瀕したが、友人や中国の農民に助けられて生き延びた。中国の人々が西村を助けたのは、戦中も西村が中国の人々を差別や虐待することなく同じ人間として接していたためだった。1946年7月に帰国し、厚生省衛生試験所に勤務。1948年4月に29歳で独立学園に着任し、高等学校開校時から初代教頭となった。まだ十分に教科書が普及していなかったため、謄写印刷で手作りのテキストを作り、また自由研究を重視した授業を展開するなど、高い理想と情熱を持ってゼロから始まった新制高等学校づくりに取り組んだ。並行して、地域の青年たちを対象とした聖書を学ぶ会を開くなど、積極的に地域への働きかけも行った。特に初期の財政状況が良くなかった独立学園に負担をかけたくないとの思いから、西村は三年で独立学園を去ったとも言われる。1951年4月、矢内原の紹介により東大教養学部学生部助教授となり、学内で聖書集会を始めた。学生部助教授として安保闘争時の東

大闘争の真ただ中に身を置き、体を張って流血を阻止した。東大闘争が始まった 1968 年以降、学生の世話をする中にほんとうの教育をたずねてきた西村の姿勢は周囲に徹底的に批判されるようになったが、西村は学生たちとの自主講座を通して障碍者や抑圧されている人々へ目を向けるようになっていった。その後、東大を退職し、北海道や東京で福祉関係の仕事に就き、北海道では北広島聖書集會を主催した。東京では社会福祉法人泉会「泉の家」の施設長(1983 年～ 1988 年)を務めた。矢内原や鈴木の記念講演会をはじめ各地の講演会や聖書集會で講演を行い、また独立学園の創立記念式でも二度講演している。妻の西村董子は、結婚前までは小学校教員だった。

にちろせんそう【日露戦争】 1904 年～ 1905 年、日本と帝政ロシアが満州・朝鮮の制覇を争った戦争。

にっちゅうせんそう【日中戦争】 1937 年 7 月の事件をきっかけにして起こった日本と中国との間の戦争。はじめ日本政府は支那事変あるいは日支事変とよび、宣戦布告も行わなかったが、戦線は全中国に拡大、太平洋戦争に発展した。

にのみやきんじろう【二宮金次郎】 (1787 ~ 1856)、江戸末期の熱心で研究的な農業者(篤農家)。金次郎は通称。

にほんゆうわかい【日本友和会】 → FOR

ニュートン Issac Newton (1642 ~ 1727)、イギリスの学者。光のスペクトル、万有引力、微積分などの発見で知られる。リンゴの実が落ちるのを見て重力の法則を発見したという話が有名だが、このエピソードが事実かは不明。

ぬまざわ【沼沢】 羽前沼沢駅のこと。沼沢は小国町の地名で、叶水や市野々方面から桜峠を越えて北東に進み、国道 113 号線に合流するあたり。鈴木一家が小国へ移住当時の米坂線は羽前沼沢駅が終着駅で、沼沢、市野々、叶水、大石沢はそのころ津川村だった。な

お、1924 年の小国伝道開始時には米坂線は開業しておらず、政池仁と横山喜之は赤湯駅から軽便汽車(当時の名称は長井線、現在のフラワー長井線)で今泉駅まで行き、今泉駅からは歩いて宇津峠を越え、小国に入った。1926 年の米坂線の開業時の終着駅は今泉駅だったが、米坂線はその後、1931 年に手ノ子駅、1933 年に羽前沼沢駅、1935 年に小国駅まで延伸され、1936 年に米沢から坂町の全線が開通した。現在の羽前沼沢駅は、米坂線で米沢方面に向かって、独立学園の最寄りである伊佐領駅の次の駅。

ネロ (37 ~ 68) ローマ帝国五代皇帝。

のむらみのる【野村実】 (1901 ~ 1996)、医師。

まだ特効薬がなく死亡率が高かった 1934 年に、東京都内で結核病院を開業した。日本キリスト教海外医療協力会会長、日本シュワイツァー友の会会長などを歴任。独立学園創立当初の校医で、保健の授業も担当した。

ハイド Albert Alexander Hyde (1848 ~ 1935)、メンソレータムの発明者であり創業者。「何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい」(マタイによる福音書 6 章 33 節)という聖句を自身の生活の中心とし、所有物はすべて神から預けられているものという信仰に生きた。「人の生涯の美しさは彼の富から生ずるのではなく、彼の奉仕から生じるのである」と語り、外国伝道を支援する有力者として知られた。16 歳の時に移住したカンザス州の町で後に生まれたヴォーリズと 1910 年に知り合いとなった以降、ハイドは日本で伝道活動を行うヴォーリズを気にかけて、支援した。そして、お金を寄付するよりも販売権を寄贈すればより長くヴォーリズの伝道と事業を支えられると考え、日本でのメンソレータムの販売権をヴォーリズが創立した近江兄弟社(近江ミッション)に譲渡したようだ。(本誌は『ヴォーリズ評伝』(奥村直彦著)を参考に作成した。ヴォーリス、ハイド、近江兄弟社について、詳しくは同書を参照されたい。)

パウロ 元は熱烈なユダヤ教徒でイエスの弟子たちを迫害していたが、復活したキリストの声を聞いて回心し、使徒として世界中に福音をのべ伝えた。新約聖書に収められている多くの手紙の著者。

はこのくち【箱の口】伊佐領 駅近くの地名。現在、南陽市方面から独立学園へ行く際、国道 113 号線から横川ダム・独立学園方面への入り口にあたる。

はしづめきぬ【橋爪きぬ】米沢市に居住し、佐藤のぶと共に聖書集会を開いていた。

はちこう【八高】→第八高等学校

はっこ【跋扈】思うままに勢力をふるうこと。また、のさばり、はびこること。

パニヤン John Bunyan (1628 ~ 1688)、イギリスの作家。→この罪人の首に溢るる恩寵
バビロンじん【バビロン人】イラク中部にあった、メソポタミアの古代都市。世界都市として栄えた。

バビロンほしゅう【バビロン捕囚】紀元前 6 世紀、ユダヤ人が新バビロニア軍に捕らえられ、バビロンに強制移住させられたこと。第 1 次は前 597 年、第 2 次は前 586 年（前 587 年説もあり）。ペルシアのキュロス王により、前 538 年帰還が許可された。

バプテスマ 洗礼のこと。

はまだしげよし【浜田成義】独立学園旧講師。蚕糸試験場関係の公職を定年退職後、東京農業大学農学部講師、および同大農学部付属畜種学研究所（現・財団法人進化生物学研究所）主任研究員。

パラダイス・ロスト Paradise Lost (1667)、ミルトンの 12 巻 1 万行余りの叙事詩。「失樂園」、「樂園喪失」。

パルテノン アテネのアクロポリス上にある神殿。紀元前 438 年完成。

ハルレだいがく【ハルレ大学】ドイツ東部ハレ市にある大学。ハレ大学。

はんさい【燔祭】古代ユダヤ教で、供えられた動物を祭壇で全部焼いて神に献げること。新

共同訳では「焼き尽くす献げ物」、聖書協会共同訳では「焼き尽くすいけにえ」と訳されている。

ハンセンびょう【ハンセン病】癩菌によって起こる慢性の感染症。皮膚・末梢神経などに病変が現れるが、伝染力はきわめて弱く、現在は完治する。かつては遺伝性疾患と誤解され、患者は隔離され、断種や墮胎などの人権侵害が起きた。ハンセンとは、1873 年に癩菌を発見したノルウェーの医師の名。

はんぱく【反駁】論じ返すこと。反論。

ひぎ【被疑】捜査機関から犯罪の疑いをかけられること。まだ起訴はされていないが、家宅捜索などの法的な手続きが開始されている状態。

ひぐらしかつひで【日暮勝英】（～ 2000）、旧郵政省に勤務。独立学園旧理事。独立学園創立当初からの支援者であり、榎本忠雄教頭（当時）が入院中は毎月のように来校し、講師として政治経済を教えた。

ひぞうぶつ【被造物】神によってつくられたものの。

ヒトラー Adolf Hitler (1889 ~ 1945)、ドイツの政治家、ナチ党党首、独裁者。第二次大戦を引き起こした。

ヒマラヤさんみやく【ヒマラヤ山脈】世界最高の大山脈。長さは約 2,550km、幅は 220km、平均高度は 4,800m。最高峰は 8,850m のエヴェレスト。

ひめん【罷免】職務を辞めさせること。免職。

ひらがしょかん【平賀書簡】北海道夕張郡長沼町に自衛隊の地对空ミサイル「ナイキ・ハーキュリーズ」基地を建設するため、政府（農林大臣）が国有林の保安林指定を解除した。それに対し、基地反対派の地元住民が、憲法違反の自衛隊基地建設のための保安林解除は違法と訴訟を起こした（長沼ナイキ事件）。1973 年 9 月、一審の札幌地方裁判所・福島重雄裁判長は、自衛隊を違憲とし、原告の訴えを認め、保安林指定解除処分の取り消しを

命ずる画期的な判断を下した。ただし、この一審判決は、二審の札幌高等裁判所で破棄され、最高裁判所も二審判決を支持して原告の訴えを退けた。平賀書簡とは、この一審判決の前に、裁判長であった福島判事に宛てて、札幌地裁所長であった平賀健太が送った書簡のこと。内容は、「一先輩のアドバイスとして、参考になるようなら判断の一助にしてください」という書き出しで、農林大臣の判断を尊重し、原告の訴えを退けるべきというものだった。この書簡が発覚すると（おそらく、福島が札幌地裁の臨時の裁判官会議に提出）、裁判官の独立性に対する侵害として論議をよんだ。最高裁判所は1969年9月20日に最高裁判所臨時裁判官会議を開き、平賀書簡について「先輩として親切心からでたものであるといえ節度を超えるもの」であり、「裁判の独立と公正について国民の疑惑を招く」とする最高裁としての所信を明らかにした。その上で、平賀に対して注意処分を与え、東京高等裁判所判事に異動（降格）させた。

ひれさきとおる【**鱒崎轍**】独立学園初期の評議員。

hinterland ドイツ語の Hinterland。後背地。一般に、港の背後にある陸地のこと。港や都市の経済的勢力圏であり、港湾や都市が存立する基盤となる地域のこと。dの発音表記はトとドの二つがあり、鈴木はドとしているが、広辞苑（第6版）の表記に従って hinterland と表記した。

ファリサイは【**ファリサイ派**】律法に厳格で、排他的・形式的なユダヤ教の一派。新約聖書の中でイエスに偽善者と断じられている。

フィロソフィア 古典ギリシア語で哲学の意。philoが愛、sophiaが知恵を意味する。

ふくいん【**福音**】よろこばしいしらせ。イエス・キリストによる救いが完成される神の国の到来を告げるよきしらせ。

ふけいざい【**不敬罪**】天皇・皇族・神宮などに対して不敬の行為をする罪。1947年の刑法改

正で削除。

ふじいたけし【**藤井武**】(1888～1930)、キリスト教伝道者。一時、内村鑑三の助手を務めた。

ふじおまさひと【**藤尾正人**】独立学園旧理事、独立伝道者。元国立国会図書館員。

ふちんくうぼ【**不沈空母**】1983年1月の訪米時に中曽根首相（当時）が発言したとされることばで、問題発言とされ大きな議論を呼んだ。発言の意図を説明するなど、当時の中曽根自身は発言自体を否定してはいなかったが、後年になり通訳の誤訳であると発言自体を否定した。しかし、2017年1月に外務省が公開した外交文書によって、中曽根自身が「日本列島を不沈空母のように強力に防衛する」と発言していたことが確認されている。そもそも、空母とは航空母艦のことで、航空機を搭載でき、その離着陸も可能な軍艦のことであり、軍の活動範囲を飛躍的に広め、戦力を著しく強化する。中曽根は当時、日本に外国機の侵入を許さないという意味で語ったと説明していた。一方、世論は、空母は本拠地から離れたところでの軍事作戦の中核的存在であるため、日本が列島ごと沈むことのない空母の役割となり、アメリカ本土外の軍事拠点として、身を挺してソ連の攻撃からアメリカ本国を守るといった意味にとらえた。

ふっかつ【**復活**】特にイエスが十字架上で死んでから、3日目に生き返ったこと。

ふふつせんそう【**普仏戦争**】1870年～1871年、プロイセンを主とするドイツ諸邦とフランスとの間に起こった戦争。

ふへんてき【**普遍的**】広くいきわたるさま。ある範囲におけるすべてのものにあてはまるさま。

プラトン（前427～前347）ソクラテスの弟子。アリストテレスと並んで古代ギリシア最大の哲学者と言われる。紀元前385年ごろ、学園アカデメイアを開設。各地から青年を集めて、研究と教育と著述に専念した。アリストテレ

スは 17 才でアカデメイアに入門し、プラトンから教えを受けた。

フランスかくめい【フランス革命】1789 年～1799 年にフランスに起こった革命。封建的な旧制度と絶対王政を倒し、人権宣言を公布、ルイ 16 世は処刑され、共和制が成立した。

ブルムがくえん【ブルム学園】独立学園とブルム学園は 1976 年 11 月 17 日に姉妹校となった。現在も文通をしたり、お互いの学校を訪問するプログラムなどを行っている。→金教臣

プロイセン 英語名はプロシア。1618 年に形成、1701 年にプロイセン王国と改称。1815 年ライン川中流域を得てドイツ統一の中心勢力になり、1871 年ドイツ帝国を建設、帝国を実質的に支配した。原書の表記はプロシアやプロシヤだが、現代の一般的な表記に改めた。

ヘーゲル Georg Wilhelm Friedrich Hegel (1770～1831)、ドイツ観念論哲学の代表者。

へきすう【僻陬】へんぴな土地。へき地。

へきそん【僻村】片田舎の村。へんぴな地にある村。

ペスタロッチ Johann Heinrich Pestalozzi (1746～1827)、スイスの教育家。近代西欧教育史に大きな足跡を残した。

ベトナムせんそう【ベトナム戦争】1960 年～1975 年の北ベトナム・南ベトナム解放民族戦線とアメリカ・南ベトナム政府との戦争。

ペトロ イエスの 12 弟子の一人で、12 弟子の代表者とも言われる。

ペリシテじん【ペリシテ人】旧約時代、イスラエル民族と敵対関係にあった民族。

ペルシャ ペルシア。イランの旧称。

ペルソナ 人。人格。キリスト教で、知性と意志とを備えた独立の主体のこと。父と子と聖霊の三つの位格。元はラテン語で仮面の意。

ポアンカレ フランスの数学者。数論・関数論・微分方程式・位相幾何学のほか、天体力学および物理数学・電磁気についても卓越した研究を行った。

ホイットマン Walt Whitman (1819～1892)、アメリカの詩人。自由な形式で、自然や民衆の生活、また民主主義・平和・進歩などを歌い、アメリカ民主主義の代表的詩人とされる。

ぼうきょう【防共】共産主義の侵入や伸展を防止すること。

ほうだあい【宝田あい】キリスト教伝道者、明治時代に東北地方で活動した吉田亀太郎牧師の四女、宝田一蔵の妻。村上市で「無教会聖書講義所」という看板を掲げて集会を始め、これが現在の村上聖書集會となった。→宝田一蔵

ほうだいちぞう【宝田一蔵】内村鑑三の弟子、新潟県村上市出身の無教会キリスト者。船会社に勤務し外国で暮らした後、当時の東京市水道部に勤務し、後に内村の聖書集會に加わった。片耳が不自由であったため、聞こえる方の耳を内村に向け、横向きになって講義を聴いた。吉田亀太郎牧師の四女あいと、浦和教会で吉田亀太郎牧師の司式により結婚。第二次大戦中に故郷である新潟県村上市に疎開。生家は大地主だったが、戦後の農地改革ですべて失った。伝道者だったあい夫人が村上市で「無教会聖書講義所」という看板を掲げて集会を始め、これが現在の村上聖書集會となった。

ほうねん【法然】(1133～1212)、浄土宗の開祖。

ホーリネス キリスト教プロテスタントの一派。8-1-6 で鈴木ひろが述べているホーリネスの人は、鶴岡市の西田奈津子牧師。米田豊牧師の晩年の再婚相手で、結婚後は米田奈津子となった。

ぼしんしょうしょ【戊申詔書】1908 年、桂内閣の要請をうけて明治天皇が出した詔書（天皇の文書）。日露戦争後、人心が浮ついているとして国民の勤勉や儉約を説き、国民を教化しようとした。

ホメロス 古代ギリシャの詩人。前 8 世紀頃の生まれ。「イリアス」「オデュッセイア」の作

者とされるが、この詩人が実在したか、この二作の作者だったかについては諸説がある。**ポリュカルポス**（110 ころ～ 156 ころ）、スミルナの司教。イエスの 12 弟子の一人である使徒ヨハネから教えを受けたと言われ、ローマ総督により火刑に処されたとされる。

ホリヨークさん【ホリヨーク山】Mt. Holyoke、ホリオーク山のことと思われる。

ほんまさだお【本間定夫】おぐにまぢ小国町南部の小玉川地区出身。旧満州で菊竹種次と知り合う。小国おぐにに引き揚げ後、本間建設を創業した。本間利雄ほんまとしおの養父。

ほんまとしお【本間利雄】（1931～2018）、山形県を代表する建築家。独立学園のある小国町おぐにまぢ出身で、若き日に鈴木により信仰に導かれた。独立学園の管轄係を自認し、現校舎・講堂など、さまざまな施設の建設・維持・管理に尽力した。

まえのただし【前野正】（～1984）山形大学教授。山形大学に赴任後、白崎吉郎とともに山形聖書集会を再開した。1951 年から長年にわたり独立学園で特別授業を行った一方、山形大学のキリスト教青年会である磐上会ばんじょうの学生たちを引率し、度々独立学園を訪問した。この訪問は、創立当初の独立学園生に自信を与えたと言われる。

まさいけじん【政池仁】（1900～1985）内村鑑三に学んだキリスト教伝道者。独立学園の初代理事長。鈴木彌美すけよしの妻・鈴木ひろの兄。キリスト教の伝道雑誌「聖書の日本」主筆。内村の呼びかけに応じて 1924 年に初めて小国伝道に出かけた二人のうち一人で、1927 年には、初めて独立学園がある叶水地区を訪れた。鈴木と同じ帝大（東大）理学部で学び、卒業後は水産講習所の講師を経て静岡高等学校（現・静岡大学）教授となったが、小国伝道の際に国策に反対することを語ったことが元で教授職を辞職し、伝道者となった。鈴木がますもと榎本一家へ独立学園への赴任を依頼した際、榎本華子はなこが相談した相手の一人で、華子

は政池まさいけからの葉書の文面に後押しされ小国行おぐにきを決断した。なお、仁と書いて「めぐむ」と読むのが本名であるが、誰もそう読んでくれなかったため政池自らが「じん」を通称とした。本書では、「じん」で統一した。→聖書の日本、聖書の農村

ますもとうめこ【榎本様子】（1892～1992）、独立学園旧職員、100 歳まで在職。1926 年、様子の夫が列車事故の犠牲となり他界した際、様子は夫も自分もクリスチャンだと言って仏式の葬式を断り、キリスト教式で葬儀を行うこととした。この話を聞いた内村と金井かねいためいろうためいろうが葬儀の司式を行い、これが縁で、様子は内村の聖書研究会の会員となった。その後、様子が 3 人の子の家庭教師について内村に相談した際に紹介されたのが鈴木だった。戦後、様子は茨城県で開拓農業を営んでいた次男・忠雄とその妻・華子のところへ身を寄せ、共に 1950 年まで 5 年間農業に励んだが、水害で作物が全滅。そのころ鈴木が茨城の榎本家を訪れ、三人に独立学園の職員となることを依頼。忠雄と様子はすぐに受諾したが、迷った華子は石原兵永いしはらひょうえいや政池仁まさいけじんに相談し、決断。榎本一家は 1951 年 6 月に着任し、独立学園構内に居住。以後、忠雄は鈴木担当の英語と鈴木ひろの担当の数学以外のさまざまな教科を教えたほか、教頭の任や学園のあらゆる仕事を担った。様子は書道、華子は音楽などを教えた。鈴木は様子と表記しているが、梅子、うめ子、椋、宇免などと表記することもある。夫を亡くした様子は、世帯主が女性であるとわからないようにするために、表札に椋と記した。

ますもとじゅん【榎本潤】ますもとただお榎本忠雄・華子夫妻はなこの子。独立学園卒業生。榎本家が独立学園に赴任した際は生後 8 ヶ月だった。

ますもとせいいち【榎本誠一】ますもとただお榎本忠雄の兄。1931 年 8 月には鈴木が榎本誠一を連れて小国伝道をした。

ますもとせんせい【榎本先生】→榎本忠雄ますもとただお

ますもとただお【榊本忠雄】(1914 ~ 1980)、
独立学園第二代教頭。鈴木が東京帝大物理学
教室助手となった 1928 年 5 月ごろから、鈴木
は榊本家の家庭教師をしていた。1938 年 3
月に慶應義塾大学法学部を卒業し、同年 4 月
に三菱石油に入社したがすぐに招集され、中
国戦線に配属された。1943 年 7 月に負傷し除
隊となり、同年 12 月 22 日に芦屋華子と結婚。
1944 年 3 月に再度招集されたが、鎌倉や御殿
場の部隊で中隊長を務めた。終戦後、1946 年 3
月から茨城県に移住し、開拓農業を行った。
1951 年 6 月、鈴木に請われて一家で独立学園
に着任し、召天した 1980 年度まで教頭を務
めた。本書 8-1-7、10-2-8、榊本様子の註も参
照されたい。

ますもとはなこ【榊本華子】(1922 ~ 2012)、
独立学園の音楽教師として、2 期生から 62 期
生までを指導した。その他の略歴については、
ますもとうめこ ますもとただお
榊本様子、榊本忠雄の註を参照のこと。

まつおか【松岡】JR 米坂線、羽前松岡駅付近。
小国駅と伊佐領駅の間の駅。

マッカーサー Douglas MacArthur (1880 ~
1964)、アメリカの軍人。元帥。太平洋戦争
開戦時の極東軍司令官。日本降伏後は連合
国軍最高司令官として日本占領にあたった。
1951 年、朝鮮戦争処理問題で解任された。

まつまえしげよし【松前重義】(1901 ~ 1991)、
東海大学の創設者。鈴木、政池仁らと同年代
で共に内村鑑三に師事した。望星学塾は東
海大学の母体。通信省(現在の総務省)に勤
務していた松前の尽力により、独立学園に公
衆電話が設置された。独立学園の初期の卒業
生のうち数名が東海大学に進学している。

まぶね【馬槽】馬のえさ箱。生まれたてのキリ
ストが寝かされた場所。

マルクス Karl Marx (1818 ~ 1883)、ドイツの
経済学者・哲学者・革命家。エンゲルスとと
もに科学的社会主義の立場を創始、資本主義
体制を批判し、終生国際的社會主義運動のた
めに尽くした。マルクス主義は、マルクス・

エンゲルスによって確立された思想体系。資
本主義社会の矛盾を分析し、労働者階級の手
による社会主義社会の実現を主張する。

まんしゅう【満州】中国の東北部の昔の俗 称。

まんしゅうじへん【満州事変】1931 年 9 月 18
日、関東軍(日本陸軍部隊)が柳条湖で南
満州鉄道を爆破。これを中国軍の仕業と偽
り、攻撃を開始した。満州事変は、この柳
条湖事件から起こった日本による満州(中
国東北一帯)への侵略戦争。

まんぞくものがたり【満足物語】Adventures in
Contentment (1910)。邦訳は出版されていな
い。独立学園 1 期生から、英語の授業のテキ
ストとして用いた。鈴木没後は、3 年生の
英語の選択授業のテキストとなっている。→
デビッド・グレイソン

ミケランジェロ Michelangelo(1475 ~ 1564)、
本名 Michelagnolo Buonarroti。イタリア、ル
ネサンス期の彫刻家・画家・建築家。ルネサ
ンスの大画家、古代ギリシア以来の最大の彫
刻家として知られ、レオナルド・ダ・ビンチ
と並ぶルネサンスの巨匠。死後には詩集も出
版された。

みぞぐちただし【溝口正】(~ 2007)、浜松聖書
研究会主催。浜松市政教分離違憲訴訟を起こ
した。『自治会と神社——「町のヤスクニ」を糺
す——』(すぐ書房、1975 年)の著者。

みたにたかまさ【三谷隆正】(1889 ~ 1944)、
内村の門人であり、大正・昭和期の教育家。
六高などを経て一高教授となった。学生時代
から新渡戸稲造、内村鑑三に師事し、無教会
キリスト教に入信した。著書に「幸福論」な
ど。1923 年 1 月 9 日、内村の司式により結婚
したが、翌年 3 月に生後 3 週間の娘と、同年 7
月に妻と死別した。

みどりご【嬰兒】生まれたばかりの子。

みなまたびょう【水俣病】有機水銀中毒による
神経疾患。四肢の感覚障害・運動失調・言語
障害・視野狭窄・震えなどを起こし、重傷
では死亡する。1953 年 ~ 1959 年に熊本県の

みなまた
水俣地方で、工場廃液による有機水銀に汚染された魚介類を食したことにより集団的に発生。1964年頃、新潟県阿賀野川流域でも同じ病気が発生した。

みなみおぐに【南小国】^{おぐにまち}小国町の南部、^{いいで}飯豊連峰側のこと。

ミルトン John Milton (1608 ~ 1674)、イギリスの詩人。^{せいきやうと}清教徒革命に参加、自由と民主制のために戦い、クロムウェルの共和政府にも関与。失明し、王政復古後は詩作に没頭した。

ミレトス 現在のトルコにある、古代の^{こうわん}港湾都市。エフェソスの南に位置する。

むらおかゆたか【村岡豊】独立学園旧職員(1979 ~ 1982年まで勤務)。物理、地学を担当。子は独立学園卒業生。

むらたこういちろう【村田幸一郎】(1887 ~ 1956)、近江兄弟社の創立者の一人。→^{よしだ}吉田悦蔵^{えつぞう}

むらやまみちお【村山道雄】(1902 ~ 1981)山形県知事(官選・1945年10月 ~ 1946年10月、公選・1947年4月 ~ 1955年2月)。その後、参議院議員。内村の弟子で東大総長となった^{やないはらただお}矢内原忠雄の教え子。第二次大戦中、侵略戦争を批判し大学を迫われた^{やないはら}矢内原は、朝鮮で^{かんこう}聖書講義を敢行。その際、当時朝鮮総督府の役人だった村山は、日本の^{かんけん}官憲による^{やない}矢内原への^{はら}監視を避けられるように、自宅を^{はら}矢内原の宿として提供した。独立学園が高等学校として認可されたのは当時山形県知事であった村山の^{じんりよく}尽力によるところが大きく、鈴木も「この人なくして独立学園はなかった」と語った。村山は、1946年5月15日に山形県会議事堂を会場として、知事主催のキリスト教講演会を開催し、そこで鈴木が「正義と力」、^{まさいけ}政池が「科学と^{キリスト}基督教」と題して講演を行った。この講演会が行われた議事堂から道を隔ててすぐ向かいが山形警察署。そこに、つい一年三ヵ月前の1945年2月12日まで鈴木と^{わたなべ やいちろう}渡部弥一郎が収監されていた。鈴木は、

^{まんどう}満堂の聴衆から^{ぼんらい}万雷の拍手を受けたという。

めされる【召される】死ぬこと。

メシア 元はヘブライ語で「油を注がれた者」の意。古代ユダヤ人が待ち望んだ救い主。鈴木は「メシヤ」としているが、現代の聖書の表記にあわせた。

メソジストきょうかい【メソジスト教会】John Wesley・ジョン・ウェスリー(1703 ~ 1791)が創始したキリスト教プロテスタントの一派。ウェスレーとも。原書ではウェスレーと表記。

もりもとけいぞう【森本慶三】(1875 ~ 1964)、^{キリスト}内村の門下生。津山基督教図書館高等学校(1950 ~ 1982)、つやま自然のふしぎ館(元・津山科学教育博物館)の創立者。

モルトケしょうぐん【モルトケ将軍】(1800 ~ 1891)、ドイツ、プロシアの軍人。近代ドイツ陸軍の父で、19世紀における最もすぐれた軍事指揮者の一人とされる。

やすくにじんじゃ【靖国神社】東京都千代田区^{くだん}九段北にある神社。元は1869年(明治2年)、^{じゅん}国家に^{まつ}殉じた者の^{しょうこんしゃ}霊を祀るため招魂社として創建。1879年に現在の名に改称。戦後、一宗教法人となった。

やすだこうどうこうぼうせん【安田講堂攻防戦】特に1968年から69年にかけて日本全国で盛んになった学生運動である全共闘運動の中で起きた事件。全共闘とは^{せんき}全学共闘会議の略で、諸大学に^{れんさ}結成され、連鎖反応的に行われた闘争の中心的存在だった。運動の最盛期には全国の165大学が^{ふんそう}紛争状態になり、70大学でバリケード封鎖が行われた。東大では、1968年3月、学生たちが安田講堂を占拠。総長の要請を受けて機動隊が構内に出動すると、ほかの学生たちにも反発が広がり、10月には無期限ストに突入した。1969年1月、学生約400人と警官約8,500人が2日間にわたって^{ひろ}繰り広げた攻防戦が安田講堂事件。

やないはらただお【矢内原忠雄】(1893 ~ 1961)、経済学者。1937年、日中戦争批判により東大教授を辞職。第二次大戦後、東大総

長。内村門下で鈴木先輩で、独立学園の最初の監事。1949年10月20日と1961年5月15日に独立学園に来校し、講演を行った。また、1956年10月27日には独立学園の新校舎建築を記念する講演を山形市で行った。矢内原についてや、矢内原と鈴木や独立学園との関係については、本書6-5、6-6、7-3-19 および、小関充（独立学園元理事長）、村山道雄（元山形県知事）等の註も参照されたい。

やなぎさわよしたね【柳沢よしたね】（～1982）、1976年10月以降、度々独立学園に来校し、講演などを行った。

ヤハウエ 聖書の神。万物の創造主で統治者。かつてはエホバと表記された。本書において鈴木はヤアウエとも記している。ヤーウエ。

やまぐちのりこ【山口矩子】（～1982）、1956年から1973年まで独立学園旧講師。その間、毎年来校し、絵画の授業を行った。敗戦後の食糧難にあっても法を守るためヤミ米（不正規流通米）を口にせず、極度の栄養失調がもとで死亡した裁判官・山口良忠（1913～1947）の妻。

やまざき【山崎】独立学園の構内を走る町道を、畜舎を右手（北側）に見て進んで行き、県道に突き当たった左手（東側）の地区名。

やまもとたいじろう【山本泰次郎】鈴木同年代で、鈴木ととても親しい間柄だった。政池仁の結婚式でも司式を務めた。1934年の基督教独立学校創立式典に出席し、祝辞を述べている。

ゆいぶつろん【唯物論】哲学で、宇宙の根源は物質にあるとし、精神的なものはすべて物質の作用に基づくとする存在論上の立場。

ユークリッド Euclid、紀元前300年頃のギリシャの数学者。

ゆうわかい【友和会】→FOR

ゆかわひでき【湯川秀樹】（1907～1981）、京都大学教授。中間子の存在を予言し、素粒子論展開の契機を作った。核兵器を絶対悪と見なし、平和運動に貢献した。1949年にノーベ

ル物理学賞受賞。

ゆさわけん【湯沢健】独立学園創立時の理事兼講師。結核の研究者。

ユダこく【ユダ国】統一王国を築いたダビデの死後、イスラエルは北のイスラエル王国と南のユダ王国に分裂した。本書中、ユダ国・ユダとは、ユダ王国のことと思われる。なお、北イスラエルは紀元前701年、南ユダ王国は紀元587年に滅亡した。

ユニテリアン キリスト教プロテスタントの一派。三位一体の教理を認めず、イエス・キリストの神性を否定し宗教的偉人と見なす。1774年にロンドンで成立し、アメリカで発達。日本には1887年に伝来。

よげんしゃ【預言者】神の言を預かり、民に知らせ、悔い改めを呼びかけ、新しい世界観を示す人。特に旧約聖書では前8～7世紀におけるイスラエルの宗教的指導者のこと。

よげんしゃ【予言者】予言者は、未来の物事を見通して言う人。本書においては、予言者と預言者が厳密には区別されていない箇所もある。

よげんでら【予言寺】柏木、すなわち内村邸の一部。予言寺には内村の書齋があった。内村邸には母屋、予言寺、集会場（今井館）の三棟があった。

よこたかつのり【横田勝徳】独立学園旧職員。

よこやまよしゆき【横山喜之】1924年7月、内村の呼びかけによる小国伝道に最初に参加した一人。当時は医学部生。

よしだえつぞう【吉田悦蔵】（1890～1942）ヴォーリズと吉田と村田幸一郎の三人は、近江兄弟社の創立者として終生結束が固かった。

よねざわちほう【米沢地方】山形県の南東部。

よむべきものはせいしょ、まなぶべきものはんねん、なすべきものはろうどう【読むべきものは聖書、学ぶべきものは天然、為すべきものは労働】この言葉は独立学園の三本柱として大切にされている。元となる内村の文

章は、「聖書之研究」95号、内村鑑三全集 15巻 p.323 ~ p.324 に収録。

リヴィングストン David Livingstone (1813 ~ 1873)、イギリスの宣教師・探検家。奴隷貿易の廃止に貢献した。

りっこく【六国】中国の戦国時代の齊・楚・燕・韓・魏・趙の総称。この6つの国に秦を加えたのが戦国七雄。紀元前221年に秦の始皇帝が六国を滅ぼして天下を統一し、中国史上初の中央集権国家となった。

りっぼう【律法】ユダヤ教で、神から授けられ、遵守することを厳しく求められている規則。新約聖書では、イエスと時の権力者などとの間で律法論争がたびたび繰り広げられている。

りょうしりきがく【量子力学】素粒子・分子・原子など、微視的な物体の物理現象を扱う力学。

りょうしんてきへいえききよひ【良心的兵役拒否】個人の良心に基づいて、戦争への参加や兵士としての義務の遂行を拒否すること。兵役拒否は国家に対する反逆行為とされ死刑などの厳罰が与えられていたが、人権（良心の自由）尊重意識の高まりにより、第一次大戦ころから欧米を中心に兵役拒否を認める国が現れた。現在、良心的兵役拒否が認められる国は、欧州を中心に30カ国ほどと言われる。

りろんぶつりがく【理論物理学】数学や概念分析とを手段として、物理法則を探求する学問分野。⇔実験物理学。

リンカーン【リンカーン】Abraham Lincoln (1809 ~ 1865)、弁護士、アメリカ合衆国第16代大統領。1863年に南北戦争下で奴隷解放を宣言したが、翌年暗殺された。「人民の人民による人民のための政治」という民主主義の理念を説いたゲティスバーグの演説が有名。→ゲティスバーグの演説

るいらん【累卵】卵を積み重ねること。極めて不安定で崩れやすく、危険な状態にあること。

ルター Martin Luther (1483 ~ 1546)、ドイツの宗教改革者。原文表記はルーテル。

ルツ子【ルツ子】内村鑑三の娘。1912年1月12日、原因不明の病により18歳で死去。

ルネサンス 再生の意。13世紀末から15世紀末にかけてイタリアに起こり、次いで前ヨーロッパに波及した芸術上および思想上の革新運動。

れいじょう【令状】強制処分の判決・決定・命令を記載した裁判書。召喚状・勾引状・逮捕状・搜索状・差押状など。召集令状は、戦時中に在郷軍人を招集するための命令書。

れいてき【靈的】たましいや精神の次元のこと。

レーガン Ronald W. Reagan (1911 ~ 2004)、アメリカ合衆国第40代大統領。元は映画俳優。国威発揚のため、レバノン出兵、リビア爆撃、グレナダ侵攻、またニカラグアの反政府勢力の支持など、数々の強硬策を行ったが、一方で冷戦終結に至る路線をつくったとも言われる。

レーニン Vladimir Il'ich Lenin (1870 ~ 1924)、本名はVladimir Il'ich Ulyanov、ロシアのマルクス主義者で革命家・政治家。学生時代から革命運動に参加、流刑・亡命生活を経て、1917年、二月革命後帰国し、十月革命を成功させ、史上初の社会主義政権を樹立し、人民委員会議長としてソビエト連邦の建設を指導した。マルクス主義を理論的に発展させ、その後の国際的革命運動に大きな影響を与えた。

れんにょしょうにん【蓮如上人】(1415 ~ 1499)、室町時代、浄土真宗の僧。本願寺を建立。

レンブラント Rembrandt Harmenszoon van Rijn (1606 ~ 1669)、オランダの画家。

ローマていこく【ローマ帝国】西洋古代最大の帝国。

ろんなん【論難】相手の不正や誤りを論じて非難すること。

ワシントン George Washington (1732 ~ 1799)、アメリカ合衆国初代大統領。

わたなべいさじ【渡部伊佐次】渡部伊佐次家は、沢中集落にあった旧家。米坂線が羽前沼沢

駅までしか開通していなかった時代、列車を利用する^{かのみず} 叶水を含む現在の^{おぐにまち} 小国町の^{つがわむら} 東部地区（旧・津川村）の人々の足場となっていた。^{わたなべ いさじ} 渡部伊佐次と^{わたなべ やいちろう} 渡部弥一郎とは^{とおえん} 遠縁にあたる。^{おぐに} 鈴木も^{わたなべ いさじ} 小国伝道の際に何度も^{かのみず} 渡部伊佐次家に宿泊したが、それは^{わたなべ やいちろう} 鈴木^{かのみず} 叶水伝道の初期からの^{わたなべ やいちろう} 良き理解者である^{わたなべ やいちろう} 渡部弥一郎の紹介による可能性が高い。なお、^{いさりょう} 伊佐領^{いさりょう} 駅ができた後、バスが開通するまでは、^{かのみず} 叶水を含む現在の^{おぐにまち} 小国町の^{つがわむら} 東部地区（旧・津川村）の人々が^{いさりょう} 鉄道を利用する際は^{いさりょう} 伊佐領^{いさりょう} 駅まで歩いた。^{いさりょう} 独立学園から^{いさりょう} 伊佐領^{いさりょう} 駅までは、現在の道で約 9km。特に冬期は、^{いさりょう} 伊佐領^{いさりょう} 駅に着くと^{わたなべ いさじ} 駅のすぐ近くにあった^{わたなべ} 渡部伊佐次の弟・^{わたなべ} 渡部^{よしみ} 好が経営していた^{かのみず} たくみあい商店で休憩や着替えをして、それから^{かのみず} 汽車に乗ることが多かった。

わたなべきゅうえもん【渡部久工門】独立学園と隣接する山崎地区の住人。台湾に行っていたこともある知識人だった。

わたなべやいちろう【渡部弥一郎】（1893～1991）、1928年に^{すけよし} 鈴木^{かのみず} 彌美^{おとす} が初めて^{かのみず} 叶水を訪れて以来、^{かのみず} 叶水地区における最良の理解者、協力者、支援者、同労者であり、^{すけよし} 鈴木^{すけよし} 彌美と共に^{ちあんいじほういはんひぎ} 治安維持法違反被疑で^{かんぼう} 山形警察署^{しもかの} 監房に8ヶ月間拘置された。独立学園と同じ^{かのみず} 下叶水地区で^{なりわい} 農業を^{わたなべ} 生業としていた^{わたなべ} 渡部は^よ 読書家で、自ら^{すけよし} 短歌を詠む^{わたなべ} 教養人だった。^{かしまぎ} 鈴木^{かしまぎ} 彌美と^{かしまぎ} 渡部の^{かしまぎ} 出会いについては、本書 8-3「^{かしまぎ} 柏木の頃」を参照のこと。

FOR Fellowship of Reconciliation の略。日本^{ゆう} 友和会（**JFOR**・Japan Fellowship of Reconciliation）は、^{ゆう わかい} 国際友和会（**IFOR**・International Fellowship of Reconciliation）の日本支部。**IFOR** はオランダに本部を置く、絶対非戦を唱える国際的平和団体。1914年の創設以来、一貫して非暴力による平和実現のための活動を続け、Martin Luther King Jr.（キング牧師）など6名（2022年2月現在）のノーベル平和賞受賞者を輩出している。**IFOR** は

国連 ECOSOC（国連経済社会理事会）および UNESCO（ユネスコ・国連教育科学文化機関）において、オブザーバーと諮問のステータス（observer and consultative status）を有しており、国連機関の会議に参加して提言などを行っている。日本^{ゆう わかい} 友和会は 1926 年に創設されたが、戦時中の 1944 年に解散させられた。1976 年から 1980 年まで^{まさいけ} 理事長を務めた^{じん} 池^{ゆう わかい} 仁によれば、日本^{ゆう わかい} 友和会の創設には^{ゆう} ヴォーリ^{ゆう} ズの努力も大きかったという。現在の日本^{ゆう わかい} 友和会は 1949 年に発足し、非暴力による愛と和解を積極的に実践し、平和を造り出す活動を続けている。鈴木は 1980 年から 1988 年まで理事長を務めた。

IFOR International Fellowship of Reconciliation、国際友和会の略称。

JOCS 日本キリスト教海外医療協力会、**JOCS** は、英名である Japan Overseas Christian Medical Cooperative Service の略。